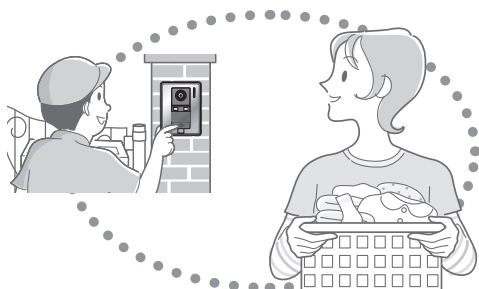
Panasonic®

取扱説明書

製品名	ワイヤレスモニター付 テレビドアホン 電源コード式	テレビドアホン 電源コード式
品番	ブイエル　エスダブリュー　ケイエル **VL-SW500KL** （VL-V570L VL-MW500KL VL-W607）のセット	ブイエル　エスブイ　ケイエル **VL-SV500KL** （VL-V570L VL-MW500KL）のセット

VL-V570L

VL-MW500KL
（本体表示：VL-MW500）

VL-SV500KLには
付属されていません

VL-W607

Ni-MH

ニッケル水素電池のリサイクルに
ご協力ください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

工事説明書 別添付

保証書 別添付

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
■**ご使用前に「安全上のご注意」（8～10ページ）を必ずお読みください。**
■保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

はじめに

本書は、VL-SW500KLとVL-SV500KLの２機種共用の説明書です。

カメラ玄関子機（本書の表記：**ドアホン**）

付属のドアホンはLEDライト付きで、夜など暗いときも来客をカラーで映します。また、広角撮影（左右：約170°、上下：約130°）ができます。

増設もできます 付属と合わせて **2台まで**
（別売品☞ 100ページ）

モニター親機（本書の表記：**ドアホン親機**）

画面が大きく（5.2型）、離れた位置でも来客の映像を確認できます。また、画面は指でタッチして操作するタッチパネルで、表示映像をワイドからズームに切り替えることもできます。（☞ 29ページ）

VL-SV500KLをご使用の方へ

本書の説明にはVL-SW500KLの表示画面を使用しています。
VL-SV500KLは子機がないため、画面に表示されるタッチボタンが一部異なります。（☞ 15ページ）

ワイヤレスモニター子機（本書の表記：**子機**）

VL-SW500KLには1台付属、VL-SV500KLはあとから増設できます

VL-SW500KLに付属の子機はドアホン/電話両用です。**別売の電話/ファクスに登録すると、電話の子機としても使えます。**（電話/ファクスの対応機種や登録方法は☞ 22～24ページ）

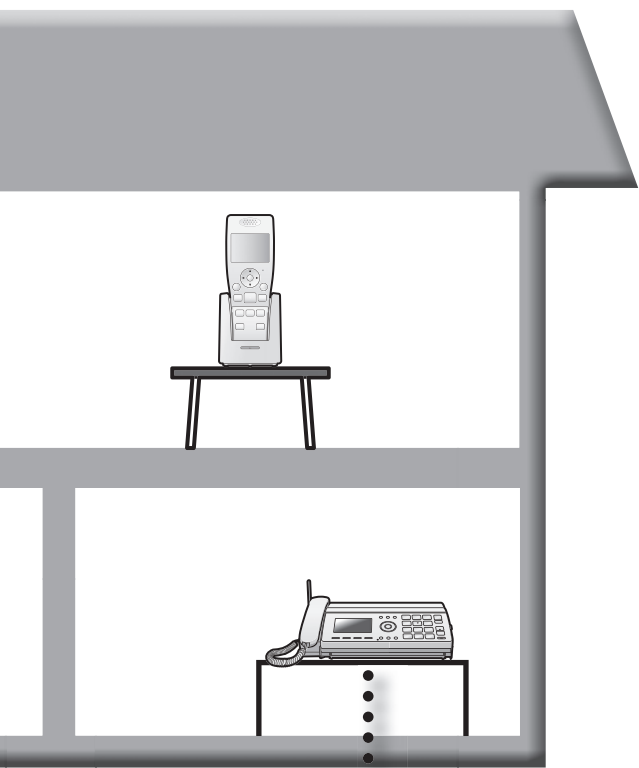
増設もできます 付属と合わせて **6台まで**
（別売品☞ 100ページ）

こんな機器にもつながります（詳しいシステム構成図は☞ 76、77ページ）

■火災警報器などのセンサー機器

センサー反応時に、ドアホン親機や子機を連動させることができます。
（詳しくは☞ 78ページ）

■電気錠やエアコンなど

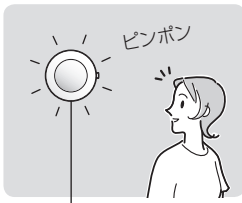
ドアホン親機や子機で、電気錠やエアコンなどの操作ができます。（詳しくは☞ 80ページ）

さらに便利に ワイヤレスアダプター機能で
電話/ファクスを接続して使う

接続した電話/ファクスで、ドアホンとの通話ができます。
接続にはワイヤレスアダプターの設定が必要です。

接続は **1台のみ**

● 接続できる機種や設定のしかたは
（☞ 82～84ページ）

■光るチャイムやメロディサインなど

来客時に光や音でお知らせします。

光るチャイム

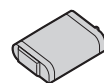
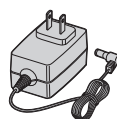
付属品・添付品の確認

不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

付　属　品

〈ドアホン用〉※1
□ 壁掛け用木ねじ・小ねじ............各2個

〈ドアホン親機用〉※1
□ 壁掛け金具......................................1個
□ 壁掛け用木ねじ・小ねじ............各2個

〈子機用：VL-SW500KLのみ〉
□ ACアダプター
（長さ約1.8 m）
...........................1個
□ 充電台
...........................1台
□ 電池パック※2
...........................1個
□ 充電台壁掛け用
木ねじ・ワッシャー
.......................各2個

※1 ドアホンとドアホン親機の付属品は設置時に使用します。詳しくは、工事説明書をお読みください。
※2 お買い上げ時、子機本体には電池パックが入っていません。
充電する前に入れてください。
（☞ 21ページ）

添　付　品

☑ 取扱説明書（本書）...........................1冊
□ 工事説明書.......................................1部
□ 保証書 1式

もくじ

付属品・添付品については☞ 3ページ

確認と準備

来客応答／モニター

録画／再生

室内通話

電話（子機のみ）

VL-SW500KLのみ

電話（子機のみ）

お好み設定

別売機器との連携

さらに便利に…

必要なとき

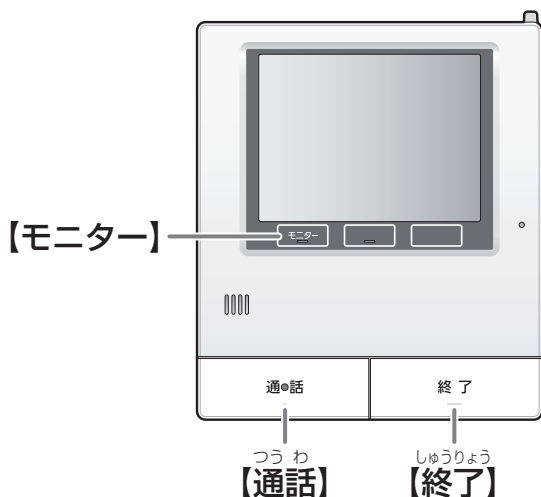
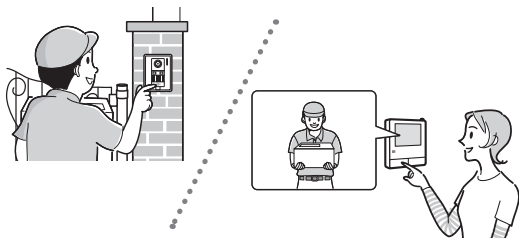
困ったとき

使ってみましょう

ドアホン親機、子機のどちらを使う場合も、操作は同じです。

● 子機は、あらかじめ充電しておいてください。（☞ 21ページ）

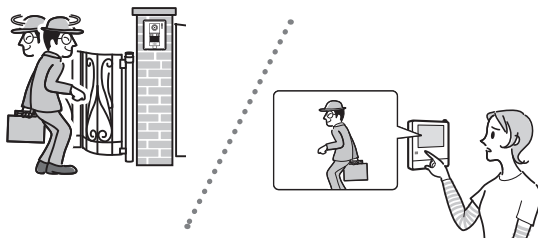
ドアホン親機

子機

ドアホンからの呼び出しに応答する

1 「ピーンポーン」と鳴ったら、

【通話】を押して相手と話す

● 相手と交互に話す（同時に話すと声が途切れます）

2 終わったら、**【終了】を押す**

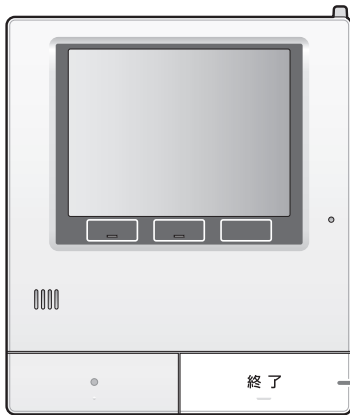
外（ドアホン側）の様子を見る

1 ドアホン親機の場合

【モニター】をタッチする

子機の場合

【モニター】を押す

● 外の映像が映り、周囲の音が聞こえる（こちらの声は外には聞こえません）

2 終わったら、**【終了】を押す**

ドアホン親機から子機を呼び出す（室内通話）

ドアホン親機

1 画面をタッチし、トップメニューの**【室内呼】をタッチして、呼びかける**

2 相手が出たら、**話す**

3 終わったら、**【終了】を押す**

子機

「プー」音や呼びかけが聞こえたら充電台から子機を取る、または**【通話】を押し、話す**

● 子機からドアホン親機を呼び出すこともできます。（☞ 45ページ）

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。
（次は図記号の例です）

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

危険

子機の電池パックについて

■分解・改造しない

分解禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■指定の電池パック以外は使用しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■付属の電池パックを、この機器以外に使用しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■専用の充電台と AC アダプターを使用して指定の電池パックを充電する

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■火の中に捨てたり加熱しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■⊕ ⊖ 端子を金属などに接触させない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

■液もれしたとき、“液”に触れたり目に入れない

禁止

目に入ると、失明の原因になります。

●目に入ったら、こすらず、すぐにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

■ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない

禁止

液もれ・発熱・破裂の原因になります。

⚠警告

■分解・修理・改造しない

分解禁止

火災・感電の原因になります。

- 修理は販売店へご相談ください。

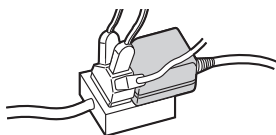
■機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない

禁止

火災・感電の原因になります。

- 金属物が入ったり、ぬれたりした場合は、すぐに電源プラグや AC アダプターを抜いて販売店へご相談ください。

■コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100 V 以外での使用はしない

禁止

たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

■ぬれた手で、電源プラグや AC アダプターの抜き差しはしない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■湿気や湯気・油煙・ほこりの多い場所では使用しない

禁止

火災・感電の原因になります。

■煙・異臭・異音が出たり、落下・破損したときは、すぐに電源プラグや AC アダプターを抜く

電源プラグを抜く

そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。

- 使用を中止し、販売店へご相談ください。

■電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる　など）

禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- 修理は販売店にご相談ください。

■医療機器の近くでの設置や使用をしない（手術室、集中治療室、CCU* などには持ち込まない）

禁止

本機からの電波が医療機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

*CCU とは、冠状動脈疾患監視病室の略称です。

■雷が鳴ったらドアホン親機・電源プラグ・充電台・AC アダプターに触れない

接触禁止

感電の原因になります。

■指定以外の機器は接続しない

禁止

火災・感電の原因になります。

安全上のご注意　必ずお守りください

⚠警告

■ 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くで設置や使用をしない

禁止

本機からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

■ 電子レンジに入れたり、電磁調理機器などに置いたりしない

禁止

発熱・発煙・火災・破裂の原因になります。

■ 付属の AC アダプター以外は使用しない

禁止

火災・感電の原因になります。

■ 心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以上離す

電波により、ペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

■ 電源プラグや AC アダプターのほこりなどは定期的にとる

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。

● 電源プラグや AC アダプターを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグや AC アダプターは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

● 傷んだプラグや AC アダプター・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

⚠注意

■ 不安定な場所や振動の激しい場所では使用しない

禁止

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

■ スピーカーに耳を近づけて使用しない

禁止

急に大きな音が出るので、聴覚障害を起こす原因になることがあります。

■ 子機を壁掛けにするときは、落下しないようにしっかりと取り付ける

落下により、破損やけがの原因になることがあります。

● 石こうボード、ALC（軽量気泡コンクリート）、コンクリートブロック、厚さ18 mm以下のベニヤ板など、強度の弱い壁は避け、指定の方法で取り付けてください。

使用上のお願い

こんなところには設置しない（ドアホン親機・子機）

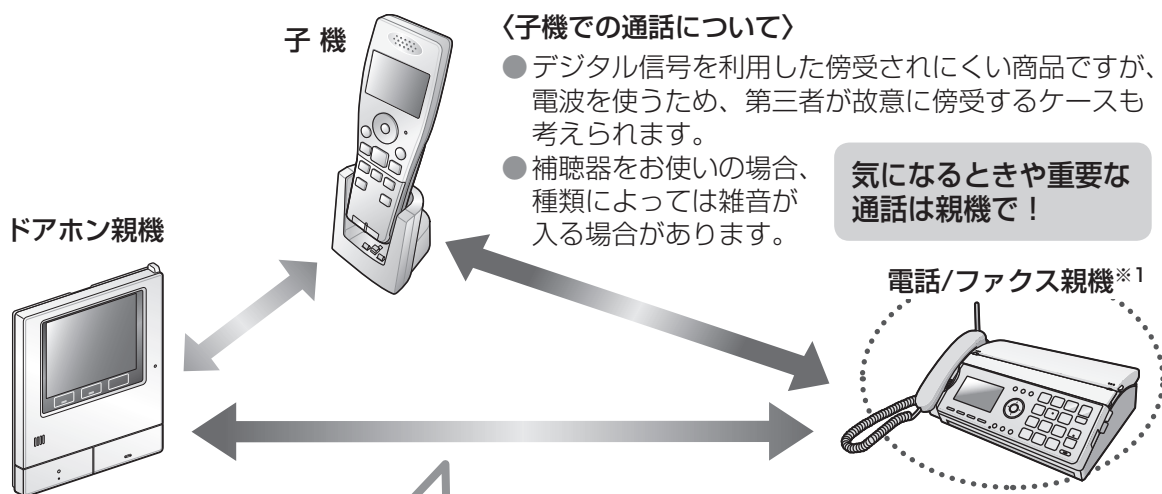
ドアホンやドアホン親機の設置場所は、工事説明書をよくお読みください

- **火気・熱器具の近く**（変形や故障の原因）
- **テレビ・電子レンジ・パソコン・エアコンなどの電気製品や、給湯器リモコン（インターホン機能付き）の近く**（電波干渉による誤動作の原因）
- **直射日光のあたるところ・冷暖房機の近く**（40 ℃以上、0 ℃以下は誤動作・変形・故障の原因）
- **温度変化が激しいところ**（結露による誤動作の原因）

子 機

〈子機での通話について〉

- デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使うため、第三者が故意に傍受するケースも考えられます。
- 補聴器をお使いの場合、種類によっては雑音が入る場合があります。

気になるときや重要な通話は親機で！

ドアホン親機

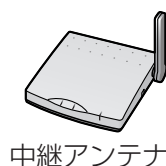
電話/ファクス親機※1

ドアホン親機・子機・電話/ファクス親機※1間の通信には電波を使うため、各機器の距離や設置場所にご注意ください

- 各機器間に何も障害物がない場合、それぞれ見通し約100 m以内の距離で使えます。
- **距離が離れていたり、100 m以内でも間に次のような障害物などがあると、電波が弱くなり**※2**、プツプツ音、通話の途切れ、映像の乱れや更新の遅れが起きて、使えないことがあります。このとき子機では、電波表示が「圏外」になります。**（☞ 18ページ）

• 金属製のドアや雨戸	• 壁を何枚もへだてたところ
• アルミはく入りの断熱材が入った壁	• 各機器を、それぞれ別の階や家屋などで使うとき
• コンクリートやトタン製の壁	

▼

このような場合、子機とドアホン親機（または電話/ファクス親機）の間には、別売の中継アンテナの設置をお勧めします。（☞ 86、100ページ）
ただし、**ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。**※2

中継アンテナ

※1 別売の電話/ファクスに増設時のみ。
※2 **親機間の電波が弱いと、電話/ファクス親機でのドアホン通話や、子機の電話機能が使えないことがあります。**
➔ ドアホン親機と電話/ファクス親機間の電波状態を見るには（☞ 93ページ）

使用上のお願い（つづき）

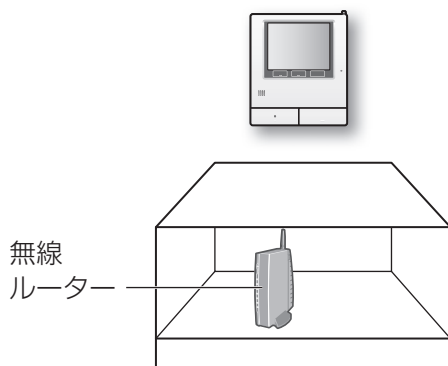
電波を使う機器から離す

電波の干渉による悪影響を予防するため、次の機器からはドアホン親機・子機・電話/ファクス親機とも約3 m以上離してください。

- 電子レンジ
- 無線LAN機器（ルーター・AV機器・防犯機器など）
- ワイヤレスAV機器（テレビ・ステレオ・パソコンなど）

その他、下記の機器も影響が出る場合があります。

- ゲーム機のワイヤレスコントローラー
- 万引き防止システム（書店やCDショップなど）
- アマチュア無線局
- 工場や倉庫などの物流管理システム
- 鉄道車両や緊急車両の識別システム
- マイクロ波治療器
- デジタルコードレス電話機/ファクス
- その他、Bluetooth® 対応機器やVICS（道路交通情報通信システム）など

（例：無線ルーターの設置）
離して置けないときは、上下に置くと影響を軽減できることがあります。

電波について

● **本機は、2.4～2.4835 GHz の全帯域を使用する無線設備です**

移動体識別装置の帯域が回避不可能で、変調方式は「FH-SS方式」、与干渉距離は80 mです。本機には、それを示す右記のマークが貼付されています。

2.4FH8

● **本機の使用周波数に関わるご注意**

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、本機の電源プラグを抜いて、お客様ご相談センター（☞ 112ページ）にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、お客様ご相談センター（☞ 112ページ）へお問い合わせください。

タッチパネル／液晶ディスプレイについて

- 液晶ディスプレイは傷つきやすいので、必ず指で触れて操作してください。
- ボールペンなど先端の硬いものや鋭利なもの、また爪先で操作しないでください。
- 液晶ディスプレイを強く押さえないでください。
- 市販の液晶保護フィルムは使用しないでください。（タッチパネルが正常に動作しない場合があります）
- 冷暖房を入れた直後など急激な温度変化のために、液晶ディスプレイの内側がくもったり露（水滴）が生じて、正しく動作しないことがあります。無理にご使用にならず本機を1～2時間放置してからご使用ください。

プライバシー・肖像権について

- ドアホンの設置や利用については、ご利用になるお客様の責任で被写体のプライバシー、肖像権などを考慮のうえ、行ってください。
  ※「プライバシーは、私生活をみだりに公開されないという法的保障ないし権利、もしくは自己に関する情報をコントロールする権利。また、肖像権は、みだりに他人から自らの容ぼう・姿態を撮影されたり、公開されない権利」と一般的に言われています。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。
  （故障の際は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください）
- 停電すると本機は使えません。
- 工事説明書に従わず、正しく設置されなかった場合などの故障および事故について当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。
- 使用を中止するときは、万一の落下防止のため、ドアホン親機、ドアホンを壁から取り外してください。電源線を直結している場合などは、取り外しをお買い上げの販売店にご相談ください。

本機を廃棄・譲渡・返却するとき

- お客様固有の情報の流出による、不測の損害などを回避するために、記憶した情報（登録した内容や、録画など）を消去してください。
  - ドアホン親機の情報を消去 ➔ 72ページ「設定の初期化」で「設定の初期化＋全画像を消去」を行う
  - 子機の情報を消去 ➔ 75ページ「設定の初期化」を行う

お知らせ

- 別売の子機に記憶した情報の消去のしかたは、お使いの子機の取扱説明書をお読みください。

各部のなまえとはたらき （ドアホン親機）

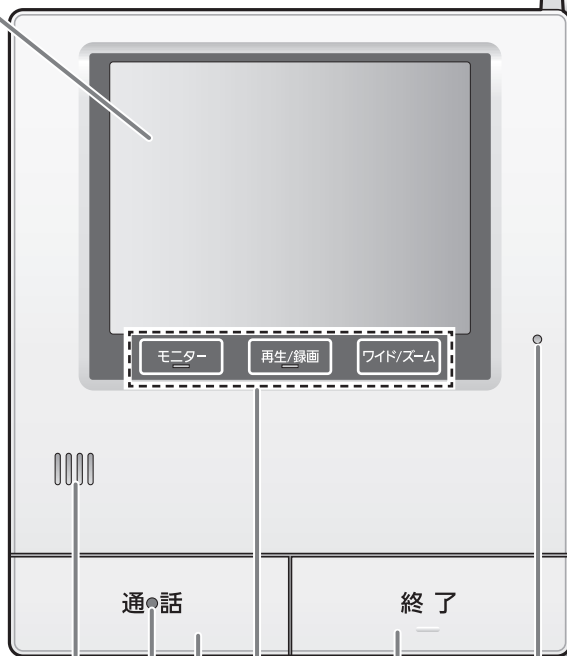
アンテナ

タッチパネル／液晶ディスプレイ

- 映像などを表示する（☞ 15ページ）
- タッチパネル／液晶ディスプレイについて（☞ 13ページ）

■タッチパネルの使いかた

下図のように画面にタッチする（軽く押す）

- 「ピッ」とタッチ確認音が鳴り、タッチしたボタンが反転表示します。

スピーカー

マイク

通話ランプ（青）

- 着信中は点滅、通話中は点灯する

終了ボタン

- 通話などの操作を終わる

通話ボタン

- 通話する（☞ 26ページ）

モニター

- ドアホン側の様子を見る（☞ 34ページ）

モニターランプ（青）

モニター中：点灯
別のドアホンからの着信中：点滅

再生/録画

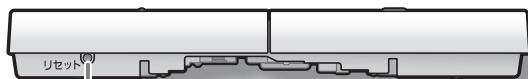
- 録画した画像を再生する（☞ 38ページ）
- 表示中の映像を録画する（☞ 37ページ）

再生ランプ（青）

新しい自動録画あり：点滅（☞ 36ページ）

ワイド/ズーム

- 映像表示をワイド/ズームに切り替える（☞ 29ページ）

■下から見たとき

リセットスイッチ

- 動作がおかしいとき、先端の細いもので押してドアホン親機を再起動する（録画した画像、登録した設定内容などは消えません）

液晶ディスプレイ(モニター画面)の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

■トップメニュー画面

ディスプレイが消えているときに画面にタッチすると表示されます。

■通話・モニター中の画面

① 最新の録画画像(未再生画像)を表示する
- 未再生画像がないときは、最新の再生済み画像を表示する

② 未再生画像の件数を表示する
- 0件のときは表示しない

③ 日時設定(☞ 25ページ)をすると、現在の日時を表示する

④ ドアホン1(機器番号) 着信中・通話中・モニター中のドアホン名を表示する
- 画像再生中は、撮影したドアホン名を表示する

通話中・モニター中に別のドアホンから呼び出しがあると表示する(☞ 89 ページ)

⑤ 録画中 映像を録画中に表示する(☞ 37 ページ)

⑥ プレストーク通話中に表示する(☞ 27 ページ)

⑦ ボイスチェンジ ボイスチェンジ中に表示する(☞ 27ページ)

⑧ 電気錠やエアコンなどの機器を接続・登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する(☞ 80、81ページ)

⑨ 映像にタッチして下記の操作ができるときに表示する(☞ 29ページ)
- ワイドからズームへの切り替え
- ズーム位置の切り替え

タッチボタンについて

操作できるボタンのみが表示され、場面に応じてボタン名が変わります。操作するときは、指でタッチしてください。(☞ 14ページ)

- **VL-SV500KLをご使用の方へ**
  付属の子機がないため、上記画面例にある 室内呼 や 通話転送 は表示されません。
  (子機を増設すると表示されます)

各部のなまえとはたらき（子 機）

●電話の機能には、（電　話）と表記しています。この機能を使うには、別売の電話/ファクスへの増設が必要です。（☞ 22～24ページ）

液晶ディスプレイ
●映像などを表示する
（☞ 18ページ）

受話口

マルチファンクションキー
（☞ 17ページ）

ガイド（☞ 17ページ）

充電ランプ
●充電中：点灯、充電完了：消灯

（電　話）
●電話をかける、受ける
（☞ 46ページ）
●スピーカーホンで通話する
（☞ 47ページ）

●通話などの操作を終わる

●ドアホン親機、別の子機を呼び出す（☞ 33、45ページ）
（電　話）
●通話中に待ってもらう（保留）
（☞ 48ページ）
●電話/ファクス親機、別の子機を呼び出す（☞ 50、51ページ）

●通話する（☞ 30ページ）

●ドアホン側の様子を見る
（☞ 35ページ）

●ワイド/ズーム切り替え、照明、逆光補正、明るさ変更の設定をする（☞ 31ページ）

●録画した画像を再生する
（☞ 40ページ）

●自分の声を低く変える
（☞ 31、48ページ）
（電　話）
●外線や内線通話中に、自分の声が相手に聞こえないようにする
（ミュート☞ 47ページ）

●機能設定をする
（☞ 73～75ページ）
●電気錠などの外部機器を操作する（☞ 81ページ）

マイク
（送話口）

フリップ
（閉じた状態）

●表示中の映像を録画する
（☞ 37ページ）

通話　来客と話す
音量/検索
充電
決定
終了
モニター
様子を見る
通話
室内呼
保留転送
表示
録画
再生
ボイスチェンジ
機能

（電　話）
＊（スター）ボタン
●ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う（トーンボタン）
（☞ 46ページ）

キャッチ/クリアーボタン
●間違えた文字・数字を消す
（☞ 94ページ）
（電　話）
●キャッチホンを受ける
（☞ 48ページ）

フリップ
●手前に起こして開ける

シャープボタン

ポーズボタン
●文字の種類を変える
（☞ 94ページ）
（電　話）
●構内交換機に接続しているときに、ポーズ（ダイヤルの待ち時間）を入れる
（☞ 46ページ）

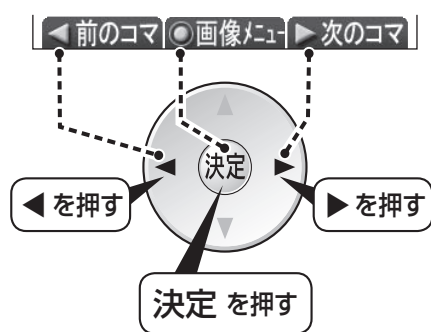
ガイドについて

● 操作の案内や場面に応じた有効な操作などを、画面下にガイドとして表示します。

〈ドアホン着信中の場合〉

通話 来客と話す

例）来客と話すときは 通話 を押すことを意味しています

〈録画再生中の場合〉

● 上記の表示は一例で、操作する画面ごとに変わります。

● 着信中やモニター中のガイドは、決定 を押すごとに表示/非表示ができます。

マルチファンクションキーについて

● 音量を変更する（☞ 31、48、61ページ）

● 項目の検索や選択などに使う

● ガイドで表示された操作をする（☞ 左記）

（電　話）

● 待ち受け画面（☞ 18ページ）の表示に対応して、下記の電話操作ができる

留守設定/解除する（☞ 56ページ）

再ダイヤルする（☞ 47ページ）

電話帳を使う（☞ 47、52ページ）

ナンバー・ディスプレイで着信した相手を見る（☞ 58ページ）

本書では、キーの押しかたを下記のように表しています。

（**上**または**下**を押す）

（**左**または**右**を押す）

（**決定** を押す）

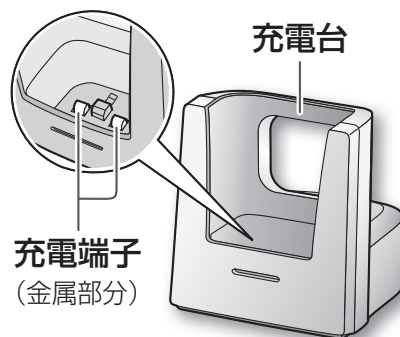
アンテナ部（内蔵）
● 使用中、手でおおわないでください（電波の状態が悪くなります）

スピーカー
● 呼出音が鳴ったり、スピーカーホン通話などで相手の声が聞こえる

充電端子（金属部分）

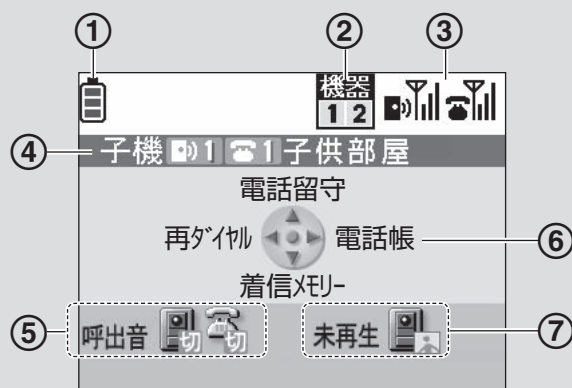
電池カバー
● 電池パックを入れたり、交換するときに開ける（☞ 21、96ページ）

充電台

充電端子（金属部分）

各部のなまえとはたらき（子 機）（つづき）

液晶ディスプレイ（モニター画面）の見かた

下記は説明のための画面例で、実際の表示とは異なります。

- 待ち受け画面は、子機を充電台から取ったとき、またはディスプレイ消灯時に（終了）を押すと表示されます。
- 電話の機能についての表示や説明には、（電 話）と表記しています。

① 電池残量のめやすを表示する

② ドアホン親機に電気錠やエアコンなどの機器を接続・登録してご使用の場合、各機器の状態を表示する（☞ 80、81ページ）

③ 電波の状態を表示する

ドアホン親機からの電波の状態

（電 話）
電話/ファクス親機からの電波の状態

- 「圏外」のときは親機からの電波が届いていません（親機に近づけてください）
- 設置場所の電波が弱いときは、電波の強い場所へ設置し直してください

④ ご使用の子機の番号や、機能設定で登録した「子機の名前」(☞ 65ページ)を表示する

ドアホン親機に対する子機番号

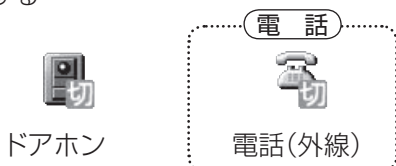
電　話

電話/ファクス親機に対する子機番号

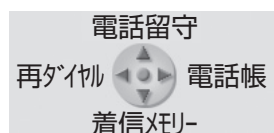
⑤ 呼出音量が「切」になっている機器のマークを表示する

ドアホン

電　話

電話(外線)

⑥ 電　話

待ち受け中に、マルチファンクションキーで操作できる電話機能を表示する※
(☞ 17ページ)

電話留守
再ﾀﾞｲﾔﾙ　電話帳
着信ﾒﾓﾘｰ

※電話/ファクスに増設しない場合は、何も表示されません

⑦ 自動録画されたドアホンの未再生画像があるときに表示する
(☞ 36ページ)

⑧ 着信中、通話中、モニター中のドアホンのマークを表示する
●画像再生中は、撮影したドアホンのマーク

ドアホン1

⑨ 通話中(電話を除く)・モニター中に呼び出してきたドアホンのマークを表示する
(☞ 90ページ)

ドアホン1

⑩ プレストーク通話中に表示する
(☞ 31ページ)

電　話

スピーカーホン通話中に表示する
(☞ 47ページ)

⑪ ボイスチェンジ中に表示する
(☞ 31、48ページ)

電　話

ミュート中に表示する
(☞ 47ページ)

■子機で表示されるドアホンの映像について
映像は約3秒ごとに更新しながら表示されます。(動画ではありません)

各部のなまえとはたらき　ドアホン

レンズカバー

LEDライト（照明用）
- 「ドアホン照明自動点灯」設定（☞ 71ページ）により自動で点灯させたり、通話中などドアホン親機や子機から手動でON/OFFすることもできる（☞ 27、31ページ）

パネル

呼出ボタン
- 押すと呼出音が鳴る
- 押し続けながら話すと、下記の**「ただいまコール」**がはたらく

マイク

カメラレンズ

スピーカー

位置表示ランプ
- 暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

水抜き穴（4か所）
- 雨水を抜くための穴です ふさがないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。

① 呼出ボタンを押したまま、**約3秒後に呼びかける**
- ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます
- 室内では映像が映り、ドアホン親機にのみ呼びかけが聞こえます

② 終わったら、**指を離す**

- ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定（☞ 60ページ）に連動します。

ドアホンの画質について

- 太陽光などの強い光が入ると、光の反射模様や白い輪が映ることがあります。
- カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがあります。
- 夜間などドアホンの周囲が暗いときの映像について
  - 外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがあります。
  - LEDライト点灯時でも、撮影範囲の両端付近（ドアホンの真横など）はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。（補助灯などの設置をお勧めします）

子機を充電する

1 電池カバーを開ける

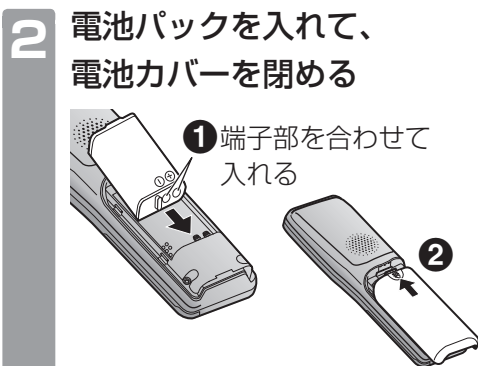
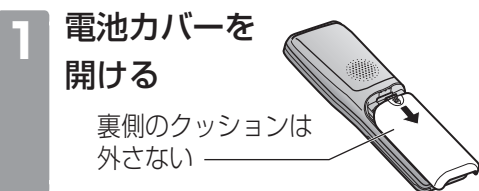
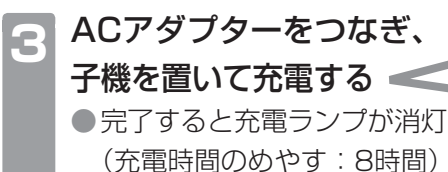
2 電池パックを入れて、電池カバーを閉める

●電池残量表示は ▯ になります

3 ACアダプターをつなぎ、子機を置いて充電する

●完了すると充電ランプが消灯
（充電時間のめやす：8時間）

●次の場合は充電時間が長くなります。
- 途中で子機を使用したとき
- 子機の電波表示が「圏外」(☞ 18ページ)のとき

●子機は充電台に置いたままでも、過充電されません。

お願い

● 1週間以上、子機を充電台から外したり、ACアダプターを抜くときは、電池パックを外してください。(電池パックの性能維持と電池消耗を防ぐため) ➔ 次に使うときは充電してください。

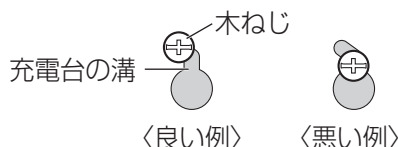
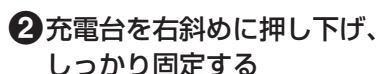
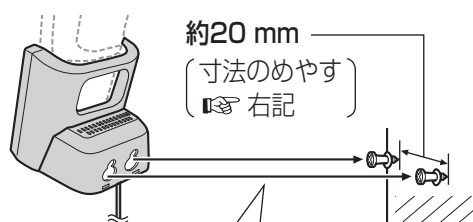
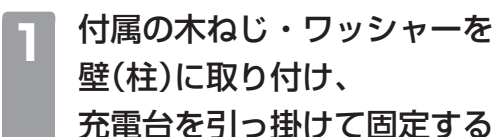
充電台を壁(柱)に掛けるとき

壁掛け時の注意(☞ 10ページ)をよくお読みのうえ、取り付けてください。

1 付属の木ねじ・ワッシャーを壁(柱)に取り付け、充電台を引っ掛けて固定する

充電台の壁掛寸法のめやす

約20 mm

❷充電台を右斜めに押し下げ、しっかり固定する

子機を電話/ファクスの子機として使うとき

付属の子機(VL-W607)はドアホン/電話の両用子機です。下記に記載した電話/ファクスに登録(増設)すると、子機の電話の機能が使えるようになります。

増設できる電話/ファクス

下記のパナソニック製品に増設できます。(2010年2月現在)

●コードレス電話機
品番：VE-GP03、VE-GP05、VE-GP10、VE-GP20、VE-GP22、VE-GP24※、VE-GP30、VE-GP31、VE-GP32、VE-GP33、VE-GP34、VE-GP50、VE-GP51、VE-GP52、VE-GP53、VE-GP54、VE-GP62、VE-SV08 シリーズ

※ VE-GP24TAは除く

●パーソナルファクス
品番：KX-PW211、KX-PW308、KX-PW320、KX-PW503、KX-PW505、KX-PW506、KX-PW507、KX-PW508、KX-PW513、KX-PW520、KX-PW603、KX-PW605、KX-PW606、 KX-PW607、KX-PW608、KX-PW616、 KX-PW820 シリーズ

●網掛け部(　　　)以外の機種は、ワイヤレスアダプター機能でのドアホン接続に対応しています。

ワイヤレスアダプター機能対応の電話/ファクスなら…

ドアホン親機と接続設定(☞ 82、83ページ)をすることにより、電話/ファクスでも来客応答(ドアホン通話)ができるようになるので、より便利にお使いいただけます。

お願い

●**子機をドアホン/電話の両方の子機として使うときは、ドアホン親機と電話/ファクス親機の設置場所にご注意ください。親機同士が離れすぎていたり、親機間に障害物などがあると、子機の電話機能が使えません。(☞ 11ページ)**

子機の機能制限

増設した電話/ファクス親機によっては、本書に記載した子機の電話機能の一部が使えません。
ご使用前にご確認ください。

電話/ファクス親機の品番 ＼ 制限される子機の機能	コードレス電話機							パーソナルファクス	
	VE-							KX-	
	GP03 GP05	GP10	GP20 GP22 GP24 (GP24TAは除く)	GP30	GP31 GP32 GP33 GP34 GP50 GP51 GP52 GP53 GP54	GP62	SV08	PW503 PW505 PW513 PW603	PW211 PW308 PW320 PW506 PW507 PW508 PW520 PW605 PW606 PW607 PW608 PW616 PW820
通話録音 (☞ 48ページ)	×	○	○	○	○	○	○	×	○
通話拒否 (☞ 49ページ)	×	×	○	×	○	○	○	×	○
電話/ファクス親機と子機間の内線通話 (☞ 50ページ)	○	○	○	○	○	○	×	○	○
内線電話の音声呼出 (☞ 50ページ)	×	×	×	○	○	○	×	×	○
電話/ファクス親機への電話帳転送 (☞ 54ページ)	○	×	×	○	○	○	×	○	○
ファクス受信 (☞ 55ページ)	×	×	×	×	×	○	×	○	○

お知らせ

● VE-GP10/20/22シリーズとVE-SV08シリーズは、電話親機の設定を子機の操作で行う仕様ですが、本機からはできません。

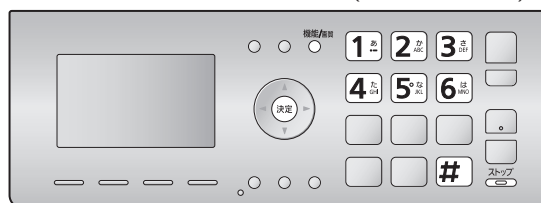
子機を電話/ファクスの子機として使うとき（つづき）

子機を電話/ファクス親機に登録する（増設）

電話/ファクス親機の操作はKX-PW508の例です。その他の機種の場合は、それぞれの取扱説明書をお読みください。

● 子機を初めて使うときは、増設の前に約30分間充電してください。（☞ 21ページ）

電話/ファクス親機の操作

（KX-PW508）

1 電話機コードを抜く

●「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、ストップ（電話機は[取消]ボタン）で表示を消してください

2 機能/画質 を押し、

 # 1 2 3 を押す

子機増設

3 （決定）を押す

増設番号
[123456]押す

● 空いている番号のみ表示

4 増設する子機番号（1 〜 6）を押す

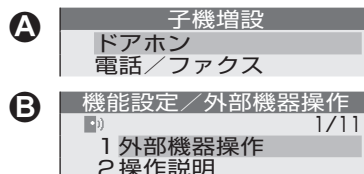
続けて、約2分以内に子機を操作する

増設する子機の操作

5 機能 を押す

● 下記のどちらかを表示

Ⓐ
子機増設
ドアホン
電話／ファクス

Ⓑ
機能設定／外部機器操作
1/11
１外部機器操作
２操作説明

■Ⓐの場合

① 続けて ◇ で**[電話/ファクス]**を選び、（決定）を押す

■Ⓑの場合

① 続けて ◇ で**[子機増設]**を選び、（決定）を押す

② ◇ で**[電話/ファクス]**を選び、（決定）を押す

6 （決定）を押す

ファクス登録完了

● 終わったら、電話/ファクス親機の電話機コードを接続する

お知らせ

● 増設後の約3分間は、子機をドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけても電波表示が圏外になることがあります。
➔ ドアホンと電話の両方の機能が使えるように準備を行っているためで、故障ではありません。

● 2台以上の子機（VL-W607）をドアホン/電話両用で使う場合、子機はすべて同じ電話/ファクス親機に登録してください。

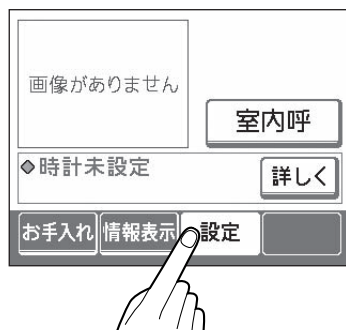
日付・時刻の設定

お買い上げ時は日時が設定されていません。ドアホン親機で下記の設定をしてください。

●設定しないと、録画の際に録画日時が記録されません。（☞ 39、41ページ）

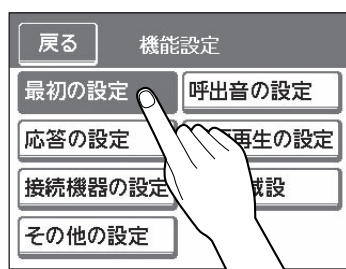
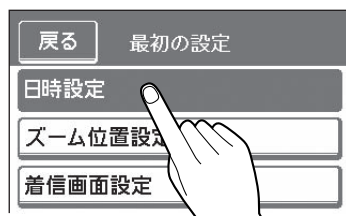
1 画面をタッチし、トップメニューの

設定 をタッチする

（例：お買い上げ時）

2

最初の設定 をタッチする

3 **日時設定 をタッチする**

戻る　最初の設定
日時設定
ズーム位置設定
着信画面設定

4 **年・月・日・時・分の**

＋ または － をタッチして日時を設定する

● ＋ または － をタッチし続けると数字が早く切り替わる

5 設定が終わったら、

決定 をタッチする

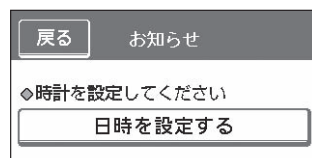
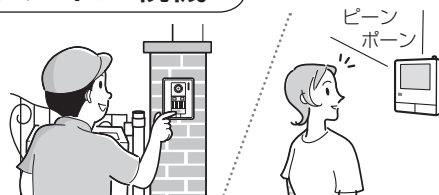
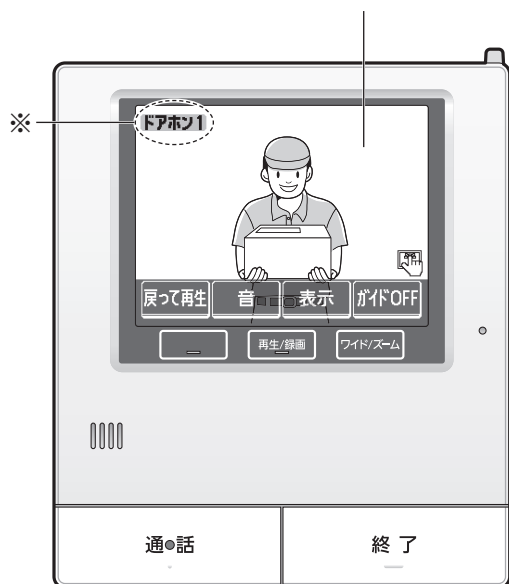
（例：2010年2月9日13時45分）

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

6 **終 了 を押す**

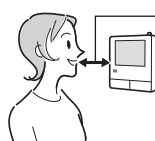
お知らせ

● 日時が設定されていない場合、手順1のトップメニューの 詳しく をタッチすると、右記のお知らせ画面が表示されます。
日時を設定する をタッチすると、上記手順4、5の操作で日時設定ができます。（設定が終わると、自動的に終了します）

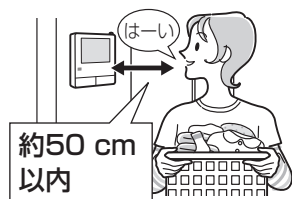
● 時刻は1か月に約60秒ずれることがあります。

呼び出しに応答する ドアホン親機

「着信画面設定」(☞ 66ページ)により、お買い上げ時はワイドで表示される

※「ドアホンの名前」(☞ 70ページ)を変更すると、その名前を表示します。

1 ドアホンから呼び出しがあると
呼出音が鳴り、相手の映像が映る

- **逆光で顔が暗く映って見えにくいとき**
  ➔「逆光補正」ができます(☞ 27ページ)
- **相手が映っていないとき**
  ➔「戻って再生」で確認できます(☞ 28ページ)

2 [通 話] **を押し、相手と話す**

約50 cm以内で
相手と交互に話す
- 同時に話すと声が途切れる

3 終わったら、[終 了] **を押す**

音声応答(☞ 69ページ)の設定をすると、ボタンを押さずに声で応答できます

呼出音が鳴ったら、声で応答する(相手には聞こえない)
- 「ピッ」と鳴ったら、話ができます
- 周囲の音に反応して応答してしまうことがあります
  - ペットの鳴き声やテレビの音など
  - 子機の呼出音(子機を近くに置いているとき)

お知らせ

- **着信時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。(☞ 36ページ)**
- 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- ただいまコール(☞ 20ページ)の呼びかけに応答するとき
  ➔ [通 話] を押す(音声応答はできません)
- **ドアホン通話中に別の呼び出しがあったとき(☞ 89ページ)**

■通話中・モニター中の機能

機能	操作
ワイド/ズームを切り替える	ワイド/ズーム をタッチする ●映像にタッチしてズームに切り替えることもできます(詳しくは☞29ページ)
ドアホンの照明や逆光補正をON/OFFする	表示 → 照明 → ON または OFF をタッチする → 逆光補正 → ON または OFF をタッチする
画面の明るさを変える	表示 → 明るさ → 暗く または 明るく をタッチする
映像に重なる表示を消す(ガイドOFF)	ガイドOFF をタッチする ■電気錠など(☞80ページ)を接続してご使用の場合 表示 → ガイドOFF をタッチする ガイドOFF中も、映像にタッチしてワイドからズーム、ズーム位置の切り替えができます ■再度ガイドを表示するには ガイドON をタッチする
受話音量を変える	音 → 受話音量 → 小さく または 大きく をタッチする
ドアホンへの送話音量を変える	音 → 送話音量 → 小 または 標準 をタッチする ●子機からドアホンへの送話音量も変わります
自分の声を低く変える(ボイスチェンジ)	音 → ボイスチェンジ をタッチする ●元の声に戻すときは再度上記の操作をする ボイスチェンジ中は画面に ボイスチェンジ を表示
送話と受話を切り替えて話す(プレストーク通話) 自分や相手の周囲が騒がしいときに使う	「ピッ」と鳴るまで 通 話 を約2秒間押す(画面に [アイコン] を表示) ■話すとき(送話) 通 話 を押したまま話す 押している間は、相手の声が聞こえません どちらさまですか ■聞くとき(受話) 通 話 から指を離す ○○です
録画する	再生/録画 をタッチする ●詳しくは(☞37ページ)

お知らせ

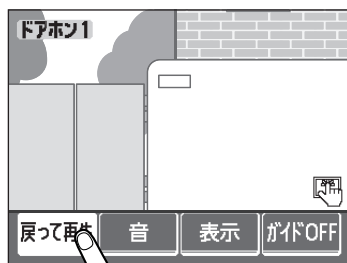
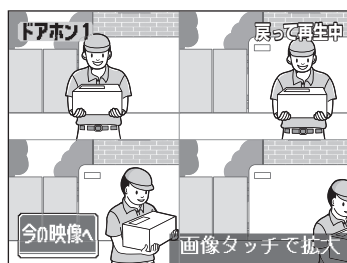
●「逆光補正」「明るさ」「受話音量」「送話音量」の設定は、次に設定を変更するまで保持されます。

呼び出しに応答する（ドアホン親機）（つづき）

着信画面に相手が映っていないとき（戻って再生）

ドアホン親機では、着信直後の映像（最大４枚）を一時的に録画しています。着信中の画面でこの録画画像を表示し、呼び出してきた相手を確認することができます。
（子機ではできません）

1 着信中の画面で

戻って再生 をタッチする

〈着信時の画像一覧〉

● 着信時に自動録画された画像（4枚）を表示

2 拡大して見たい画像をタッチする

● 現在のドアホン映像に戻るには
今の映像へ をタッチする

● 再度、画像一覧に戻るには
4枚表示 をタッチする

お知らせ

● 「ドアホン自動録画」（☞ 70ページ）の設定が「しない」の場合も、この機能が使えます。

映像の表示範囲を切り替える（ワイド/ズーム）

着信中・通話中・モニター中に、一時的にワイド/ズームの切り替えやズーム位置の切り替えができます。

縦横約2倍に拡大表示

（デジタルズームのため、ワイドに比べて画質が粗くなります）

ボタンにタッチしてワイド/ズームを切り替える

1 着信中などの映像表示中に、

ワイド/ズーム をタッチする

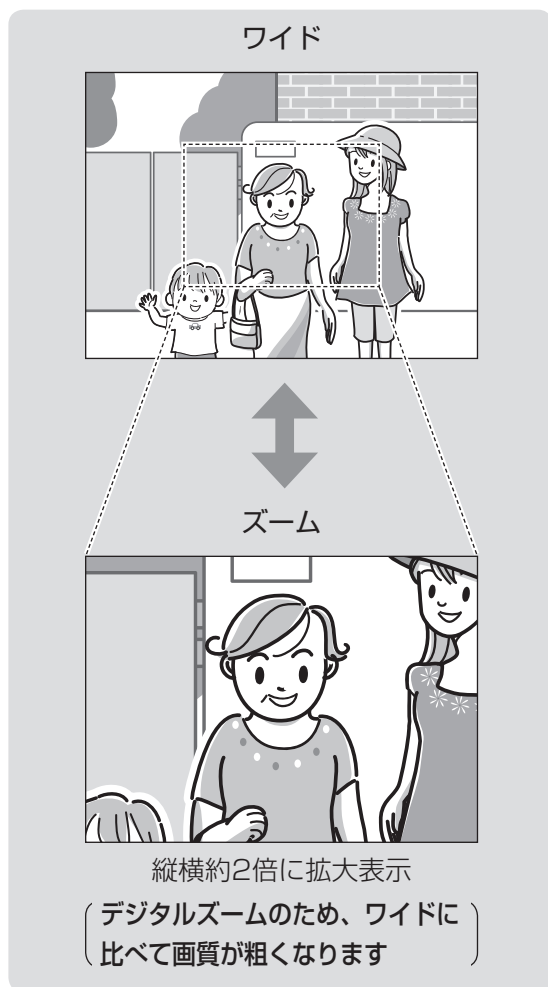
- 押すごとにワイドとズームが切り替わる

映像にタッチしてズームに切り替える

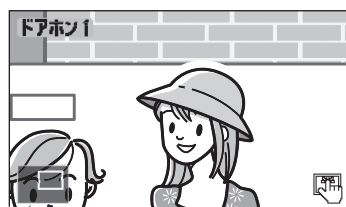
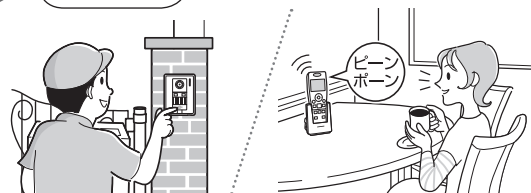
1 着信中などの映像表示中に、

ズームしたい位置をタッチする

映像にタッチして操作できるときに表示

2 **見たい位置をタッチする**

お知らせ

- 右記の表示範囲は保持されません。（次に映像を表示するときは元の表示範囲になります）
- 着信時の映像は、あらかじめズームに設定することもできます。（☞ 66ページ「着信画面設定」）
- 録画時は、画面に表示された範囲のみを録画します。（☞ 37ページ）

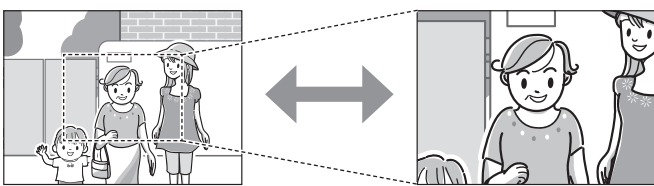
呼び出しに応答する（子機）

「着信画面設定」（☞ 66ページ）により、
お買い上げ時はワイドで表示される

1 ドアホンから呼び出しがあると

呼出音が鳴り、相手の映像が映る

● **逆光で顔が暗く映って見えにくいとき**
➔「逆光補正」ができます（☞ 31ページ）

2 **[通話] を押し、相手と話す**

約50 cm以内で
相手と交互に話す
（スピーカーホン通話）
●同時に話すと声が途切れる

3 終わったら、[終了] **を押す**

お知らせ

- **着信時の映像は、ドアホン親機に自動で録画されます。（☞ 36ページ）**
- 呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了し、映像が消えます。
- 映像は静止画で、約3秒ごとに更新しながら表示されます。
- 電子レンジや無線LAN機器などが動作すると、その電波の影響を受け、映像が乱れることがあります。（☞ 102ページ「困ったとき」）
- **ドアホン通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 90、91ページ）**

■通話中・モニター中の機能

機能	操作
ワイド/ズームを切り替える	表示 ➔ (上下) で[ワイド/ズーム]を選ぶ ➔ 決定 を押す ワイド ⟷ ズーム(縦横約2倍) ●切り替わるまでに約5秒程度かかります ●ズームにすると、ワイドに比べて画質が粗くなります ●着信時の映像は、あらかじめズームに設定することもできます(☞ 66ページ「着信画面設定」)
ドアホンの照明や逆光補正をON/OFFする	表示 ➔ (上下) で[照明]を選ぶ ➔ 決定 ➔ (左右) で[ON]または[OFF]にする └➔ (上下) で[逆光補正]を選ぶ ➔ 決定 ➔ (左右) で[ON]または[OFF]にする
画面の明るさを変える	表示 ➔ (上下) で[明るさ]を選ぶ ➔ 決定 ➔ (左右) で変更する
受話音量を変える	音量/検索 (上) を押して**大きく**　音量/検索 (下) を押して**小さく**
自分の声を低く変える(ボイスチェンジ)	ボイスチェンジ を押す(元の声に戻すときは再度押す) ボイスチェンジ中は画面に ボイスチェンジ を表示
送話と受話を切り替えて話す(プレストーク通話) 自分や相手の周囲が騒がしいときに使う	「ピッ」と鳴るまで 通話 を約2秒間押す(画面に プレストーク を表示) ■話すとき(送話) **通話 を押したまま話す** 押している間は、相手の声が聞こえません ■聞くとき(受話) **通話 から指を離す**
録画する	録画 を押す　●詳しくは(☞ 37ページ)

お知らせ

●「逆光補正」「明るさ」「受話音量」の設定は、次に設定を変更するまで保持されます。

ドアホン通話を転送する

ドアホン親機から子機へ転送する

● 転送できる相手：付属の子機など、ドアホン親機に登録されている子機

転 送 す る 側

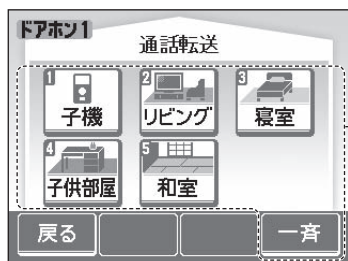
受 け る 側

1

ドアホン通話中に、

通話転送 をタッチし、転送先の相手に呼びかける

● ドアホンの映像が消え、通話ランプが点滅

転送先が複数あるとき（例：子機5台）

転送先をタッチしたあと、相手に呼びかける

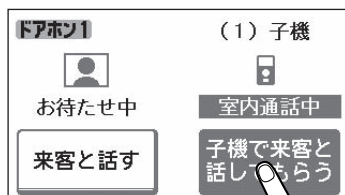
「プー」音や呼びかけが聞こえたら、充電台から子機を取る、または

通 話 を押して話す

2

相手が出たら、

通話を転送することを伝え、

子機で来客と話してもらう をタッチする

● 転送先との通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

ドアホンの映像が映ったら、

ドアホン側の相手と話す

● 終わったら、

終了 を押す

お知らせ

● 転送先の相手と通話中の音声は、ドアホン側の相手には聞こえません。

子機からドアホン親機または別の子機へ転送する

● 転送できる相手：ドアホン親機や別の子機（ドアホン親機に登録されているもの）

転送する側

受ける側

1

ドアホン通話中に、

室内呼 を押し、

転送先の相手に

呼びかける

● ドアホンの映像が消え、 が点滅

転送先が複数あるとき

ドアホン１転送中
一斉
親機
子機２

で転送先を選び、決定 を押したあと、相手に呼びかける

子機から呼び出しがあると、「プー」音や呼びかけが聞こえる

■ **ドアホン親機で受けるとき**

通　話 を押して話す

■ **別の子機で受けるとき**（例:VL-W607）

充電台から子機を取る、または

通 話 を押して話す

2

相手が出たら、

通話を転送することを伝え、

終了 を押す

● 転送先との通話が切れ、転送先の相手がドアホンと通話できる

ドアホンの映像が映ったら、

ドアホン側の相手と話す

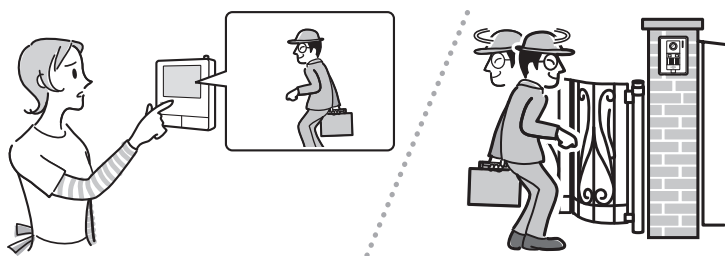
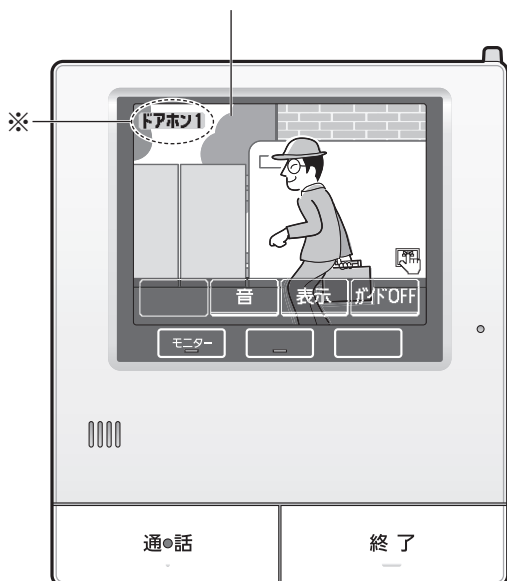
● 終わったら、

〈ドアホン親機の場合〉 終　了 を押す

〈子機の場合〉 終了 を押す

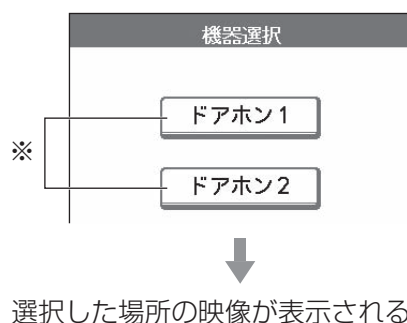
● 転送先の相手が出ないときなど、ドアホンとの通話に戻るには

〈ドアホン親機の場合〉 をタッチする　　**〈子機の場合〉** を押す

ドアホン側の様子を見る（ドアホンモニター）

ワイドで表示される

■モニター中の機能
（☞ 27ページ）

1 モニター をタッチする

- 映像が表示される
- 下記の画面が出たときは、モニター先をタッチする

選択した場所の映像が表示される

ドアホンモニター中は…

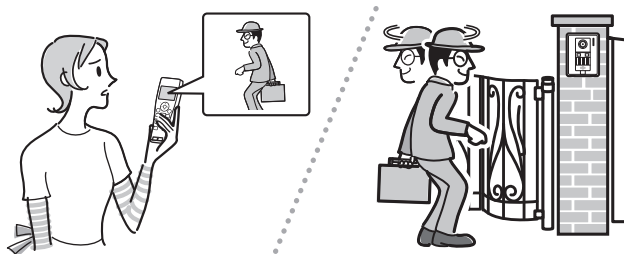
映像とともに周囲の音が聞こえますが、
こちらの声はドアホン側には聞こえません。

- ドアホン側の相手と話すには
  通 話 **を押す**

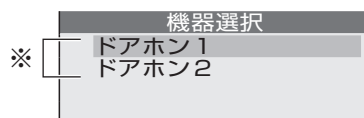
2 終わったら、 終 了 **を押す**

お知らせ

- モニターは約90秒で自動的に終了します。
- 「ドアホンの名前」（☞ 70ページ）の設定を変更すると、上記や35ページの「※」部に、その名前を表示します。

子機 の場合

■モニター中の機能
(☞ 31ページ)

1 **モニター を押す**

- 映像が表示される
- 下記の画面が出たときは、◎ で
  モニター先を選び、(決定) を押す

選択した場所の映像が表示される

ドアホンモニター中は…

映像とともに周囲の音が聞こえますが、
こちらの声はドアホン側には聞こえません。

- ドアホン側の相手と話すには
  通話 を押す

2 終わったら、(終了) **を押す**

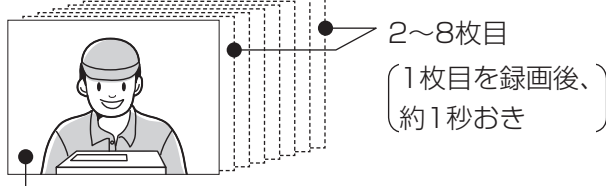
● モニター中に別の呼び出しがあったとき（ドアホン親機 ☞ 89ページ、子機 ☞ 90、91ページ）

ドアホン側の様子を見る（ドアホンモニター）

録画する

録画の方法	録画できる件数
自動録画（☞ 下記）	お買い上げ時の設定（8枚録画）で **最大50件**
手動録画（☞ 37ページ）	

録画した画像はすべてドアホン親機に記録されます。

1件あたりの録画枚数は「1枚」に変更することもできます。（☞ 69ページ「ドアホン録画数」）
- 1枚録画の場合、録画できる件数が最大100件になります。
- 8枚録画の場合、再生するときの画像は1枚録画に比べて画質が粗くなります。

自動録画

ドアホンから呼び出しがあると、応答する/しないに関わらず自動的に録画します。

「着信画面設定」（☞ 66ページ）がワイドの場合、ワイド画像が録画されます。
（録画再生時にズームにすることはできません）

応答しなかったとき…

録画した画像は未再生画像となり、下記のようにお知らせします

● **再生は**（☞ 38、40ページ）

お知らせ

- ドアホン親機の再生ランプを点滅させない設定もできます。（☞ 69ページ「再生ランプ点滅」）
- 呼び出しに応答したり、「戻って再生」（☞ 28ページ）をした場合、録画した画像は再生済み扱いになります。
- 通話中やモニター中に別のドアホンから呼び出しがあったとき（☞ 89、90ページ）は、その呼び出しに応答しないと録画されません。
- 8枚録画の場合、録画中に別のドアホンから呼び出しがあると、録画が中断され、1件あたりの録画枚数が少なくなることがあります。（最低1枚は録画されます）

録画件数がいっぱいになったとき（画像の自動更新）

録画の件数がいっぱいになると、新しい録画の際に、一番古い画像を自動的に消去します。（自動更新）

新しい画像

手動録画

着信中・通話中・モニター中のドアホン映像を、必要に応じて録画できます。

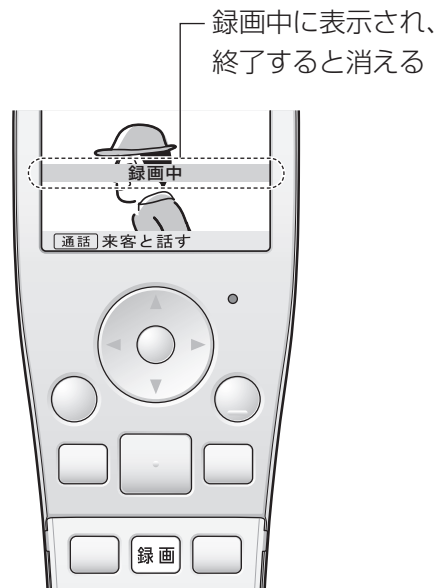
ワイドで表示中はワイド画像、ズームで表示中はズーム画像が録画されます。
(録画再生時に、ワイド/ズームの切り替えや、ズーム位置の切り替えはできません)

ドアホン親機の場合

1 映像表示中、録画をしたいときに
[再生/録画] **をタッチする**

録画中に表示され、
終了すると消える

子機の場合

1 映像表示中、録画をしたいときに
[録画] **を押す**

録画中に表示され、
終了すると消える

お知らせ

- 「ドアホン録画数」の設定が「8枚」の場合、録画時に約1秒おきの映像を8枚録画します。
- 手動で録画した画像は、再生済み扱いになります。(再生は ☞ 38、40ページ)
- **子機で録画するとき**
  [録画] を押してから録画されるまで時間差が生じます。
  このため、[録画] を押したときの映像と実際に録画された画像が異なることがあります。

古い画像(未再生を含む)
から順に消去

消したくない画像は、あらかじめ
保護設定することができます。
(☞ 42、43ページ)

録画する

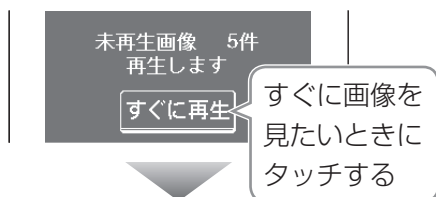
再生する ドアホン親機

録画した画像(未再生／再生済み)を下記の操作で見ることができます。

- 再生ランプ点滅時：自動録画された未再生画像を再生できます。
- 再生ランプ消灯時：再生済みの画像を含め、すべての画像を再生できます。

再生ランプ点滅時

1 再生/録画 をタッチする（ランプ消灯）

- 音声案内が流れ、自動再生が始まる

画像が2件以上あるときは、日時の新しい順に再生されます

- 再生画面の見かたや再生中の機能(☞ 39ページ)

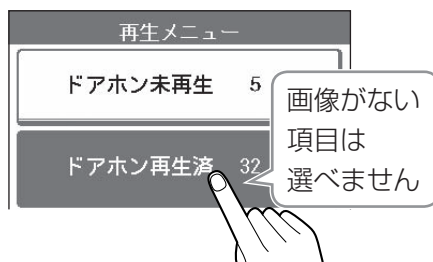
- 再生が終わると「画像は以上です」と表示され、自動的に終了する

再生ランプ消灯時

1 再生/録画 をタッチする

- 再生メニューが表示される

2 再生したい項目をタッチする

（例）

（音声案内が流れ、左記と同じように自動再生が始まる）

画像の消去について

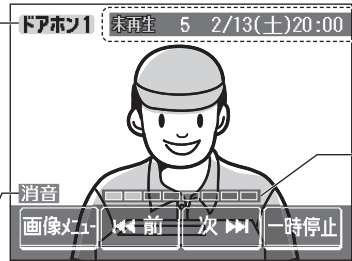
録画件数がいっぱいになると、画像は自動的に消去(☞ 36ページ)されますが、必要に応じて「個別消去」(☞ 42ページ)、「画像全消去」(☞ 70ページ)もできます。

お知らせ

- トップメニューの 再生する をタッチしても再生できます。
- 再生ランプの点滅は、すべての未再生画像を再生しなくても消灯します。

再生画面の見かたと再生中の機能

撮影したドアホン

「ドアホンの名前」の設定を変更したときは、その名前を表示します（☞ 70ページ）

下記「再生中の機能」で、再生音量が「消音」のときに表示

8枚録画のとき、何枚目かを表す（例：2枚目）

未再生 5 2/13(土)20:00

画像の状態を表示

未再生 ：未再生画像

保護 ：保護画像（☞ 42ページ）

録画番号（1～50※）

録画日時（あらかじめ、日時設定が必要 ☞ 25ページ）

※1枚録画に設定している場合は、最大100まで

再生中の機能

タッチボタン		機能説明
画像メニュー	保護	画像を保護または消去する（☞ 42ページ）
	消去	
	明るさ	明るさを変更する（ 暗く または 明るく をタッチして変更）
	再生音量	再生音量を変更する（ 小さく または 大きく をタッチして変更） • 小さく を数回タッチすると「消音」にもできます 「消音」を解除するには ➔ 大きく をタッチする
	ガイドOFF	画像に重なる表示を一時的に消す • ガイドON をタッチすると再度表示できます
	戻る	再生画面に戻る
自動再生中	⏮ 前 ／ 次 ⏭	画像が2件以上あるとき、1件単位で画像を送る（または戻す） • タッチし続けると、早送り／早戻しができる
	一時停止	自動コマ送りを一時停止する
一時停止中	◀前のコマ ／ 次のコマ▶	自動コマ送り停止中、1コマ単位で画像を送る（または戻す）
	再生再開	自動コマ送りを再開する

再生する（子機）

ドアホン親機に記録されている画像を、子機でも再生できます。

● 未再生の画像があるときは、待ち受け画面に が表示されます。下記の操作で未再生の画像をすべて再生すると、表示が消えます。

1 再生 を押す

再生メニュー
ドアホン未再生
ドアホン再生済

2 で再生したい項目を選ぶ

● 画像がない項目はグレーの文字で表示され、選べません

3 決定 を押す

ドアホン未再生： 5件
[▼▲]で画像送りが
できます

4 決定 を押す

● 日時の最も新しい画像が表示される（8枚録画の場合は、1枚目を表示）

■ 8枚録画を再生(コマ送り)するには

を押す（押すごとに1枚ずつ表示）

■ 画像が2件以上あるとき、次の画像を見るには

を押す（押すごとに日時の新しい順に表示）

● 再生画面の見かたと再生中の機能（☞ 41ページ）

5 終わったら、

終了 を押す

再生画面の見かたと再生中の機能

☆未再生　　5　2/13　20:00

画像の状態を表示

- ☆未再生　：未再生画像
- 保護済　：保護画像（☞ 43ページ）

録画番号（1〜50※）

録画日時（あらかじめ、日時設定が必要 ☞ 25ページ）

※1枚録画に設定している場合は、最大100まで

再生中の機能

ボタン	ガイド	機 能 説 明
◀	前のコマ	8枚録画の再生中、1コマ（1枚）戻す
▶	次のコマ	8枚録画の再生中、1コマ（1枚）送る
▲▼	（表示なし）	画像が2件以上あるとき、1件単位で画像を送る（または戻す） • 押し続けると、早送り／早戻しができる
決定	画像メニュー	画像を保護または消去する（☞ 43ページ）
表示	（表示なし）	明るさを変更する（◀▶ で変更）

お知らせ

- ガイドは、「録画日時表示」の設定（☞ 74ページ）で約3秒間だけ表示させたあと、自動で消すことができます。

画像を保護または消去する

録画した画像がいっぱいになると、古い画像から自動更新で消去されます。（☞ 36ページ）
消したくない画像は保護してください(最大20件)。不要な画像の消去もできます。

- 保護設定や個別消去は、画像再生中に行います。
- すべての画像を一度に消去したいとき（☞ 70ページ「画像全消去」）

ドアホン親機 の場合

1 画像再生中に

画像メニュー **をタッチする**

2 保護 **または** 消去 **をタッチする**

保護画像のときは「保護解除」と表示される

[保護]を選んだとき

- 「保護」と表示される

[消去]を選んだとき

はい **をタッチする**

- 消去が終わると、次の画像が表示される

3 終わったら、 終 了 **を押す**

■保護を解除するとき

① 保護画像を再生中に

画像メニュー をタッチする

② 保護解除 をタッチする

- 「保護」の表示が消える

お知らせ

- 保護設定(解除)や消去は1件単位で行われます。
  (8枚録画の場合は、一連の画像すべてが保護または消去されます)

子機 の場合

■保護を解除するとき

① 保護画像を再生中に

(決定)（画像ﾒﾆｭｰ）を押し、

で**[保護を解除する]**を選ぶ

② (決定) を押す

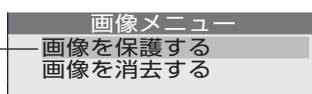
●「保護済」の表示が消える

1 画像再生中に

(画像ﾒﾆｭｰ)を押し、 で

[画像を保護する]または

[画像を消去する]を選ぶ

画像メニュー
画像を保護する
画像を消去する

保護画像のときは「保護を解除する」と表示される

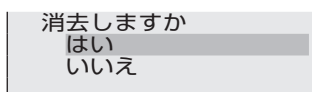
2 [画像を保護する]を選んだとき

 を押す

●「保護済」と表示される

[画像を消去する]を選んだとき

① **を押し、** (上下) **で[はい]を選ぶ**

消去しますか
はい
いいえ

② (決定) **を押す**

●消去が終わると、次の画像が表示される

3 終わったら、(終了) **を押す**

●保護件数が20件になると、それ以上保護できません。別の画像の保護を解除してから保護設定してください。

室内通話をする（ドアホン室内呼）

ドアホン親機から子機を呼び出す

●室内通話できる相手：付属の子機など、ドアホン親機に登録されている子機

呼び出す側

受ける側

1

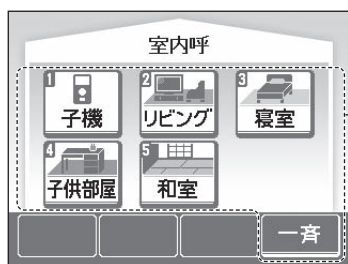
呼び出す側

画面をタッチし、トップメニューの

室内呼 をタッチして、

相手に呼びかける

●通話ランプが点灯

呼び出し先が複数あるとき（例：子機5台）

呼び出し先をタッチしたあと、相手に呼びかける

受ける側

「プー」音や呼びかけが聞こえたら、充電台から子機を取る、または

通話 を押して話す

2

相手が出たら、**話す**

●受話音量を変えるには

受話音量 をタッチして変更する

3

終わったら、 終了 **を押す**

お知らせ

●呼び出しは約30秒、通話は約90秒で自動的に終了します。

●室内通話中も、プレストーク通話ができます。（☞ 27、31ページ）

子機からドアホン親機または別の子機を呼び出す

● 室内通話できる相手：ドアホン親機や別の子機（ドアホン親機に登録されているもの）

1 室内呼 **を押す**

下記の表示が出たとき

室内呼／内線
ドアホン室内呼
電話内線

で **[ドアホン室内呼]** を選び、

決定 を押す

■ **呼び出し先が複数あるとき**

ドアホン室内呼
一斉
親機
子機２

で相手を選び、決定 を押す

子機から呼び出しがあると、「プー」音や呼びかけが聞こえる

■ **ドアホン親機で受けるとき**

通 話 **を押して話す**

■ **別の子機で受けるとき**（例:VL-W607）

充電台から子機を取る、または

通話 **を押して話す**

2 **相手に呼びかける**

3 相手が出たら、**話す**

● 受話音量を変えるには

を押して変更する

4 終わったら、終了 **を押す**

● **室内通話中に別の呼び出しがあったとき**（ドアホン親機 ☞ 89ページ、子機 ☞ 90、91ページ）

電話をかける／受ける

46〜59ページまでの機能は、子機を電話/ファクス親機に増設時のみ使えます。

フリップ
- ダイヤルするとき開ける
- 閉じたとき、電話を切るように設定もできる(☞ 75ページ)

■通話中の機能
(☞ 48ページ)

かけるとき

1 充電台から子機を取り、
を押し、フリップを開けてダイヤルする

2 **話す**

3 終わったら、
終了 を押す（フリップを閉じて充電台に戻す）

受けるとき

1 充電台から子機を取る、または
を押し、話す

2 終わったら、
終了 を押す（充電台に戻す）

お知らせ

● **電話をかけるとき**
- 「ツー」音が聞こえてからダイヤルしてください。
- 電話番号に184 や186 をつけてかけるとき
  1 8 4 (または 1 8 6) ➔ ポーズ ➔ 電話番号 ➔ を押す
- 構内交換機に接続しているとき
  外線発信番号 ➔ ポーズ ➔ 電話番号 ➔ を押す
- ダイヤル回線でプッシュホンサービスを利用するとき
  相手につながったあと ＊ (トーン)を押す
- 表示される通話時間はめやすです。
  通話料金は相手が電話に出てからかかります。

（例）

通話時間 0:00:30

● **電話を受けるとき**
- 通話 を押しても受けられます。
- ファクス親機に増設しているとき
  - 電話に出ても「ポーポー」音や無音のときは、ファクスが送られてきています。(☞ 55ページ)
  - ファクス親機がプリント中は、子機では電話に出られません。

● **外線通話中に別の呼び出しがあったとき(☞ 92ページ)**

■いろいろなかけかた

スピーカーホン通話に切り替える

相手の声をスピーカーから聞きたいときは、下記の操作で切り替えてください。
話すときは、送話口に向かって話します。（約50 cm以内）

① **通話中に を約2秒間押す**（画面に SPホン と表示）

- ●受話口での通話に切り替えるには、再度 を約2秒間押す
- ●天気予報など相手の声を聞くだけの場合に、周囲の音で相手の声が途切れるとき
  - ➔ フリップを閉じて※ ボイスチェンジ を約2秒間押す（ミュート：画面に ミュート と表示）
    - • ミュートを解除するには ボイスチェンジ を押す

※75ページの「フリップ閉設定」が「電話を切る」のときは、電話が切れます。

通話中の機能

受話音量を変える	音量/検索 を押して**大きく**
相手の声の音質を変える（ボイスセレクト）	決定（電話メニュー）➔ で**[ボイスセレクト]**を選ぶ ➔ ➔ 高音を強調するときは 、低音を強調するときは ◀ を押す ●内線通話中やスピーカーホン通話中は使えません
自分の声を低く変える（ボイスチェンジ）	ボイスチェンジ を押す（元の声に戻すときは再度押す）
相手に待ってもらう（保留）	室内呼 保留転送 を押し、終了 を押す（通話に戻るときは を押す） ●保留中は４秒ごとに「ピーッ」と鳴り、相手には電話/ファクス親機の保留音が流れます
キャッチホンを受ける（NTTとの契約が必要）	フリップを開けて キャッチ を押す（元の通話に戻るときは再度押す） **■キャッチホンでファクスが来たとき** 決定（電話メニュー）➔ で**[ファクス受信]**を選ぶ ➔ ●元の相手との通話は切れます
通話を録音する ●スピーカーホンでの通話ではできません	決定（電話メニュー）➔ で**[通話録音]**を選ぶ ➔ ➔ ◆ で**[はい]**を選ぶ ➔ 決定　（録音をやめるときは 通話 を押す） **■録音した通話をあとから聞くとき（待ち受け中に操作する）** ➔ フリップを開ける ➔ 4 ●留守番電話の用件も同時に再生されます（☞ 56ページ）

お知らせ

●「受話音量」「ボイスセレクト」の設定は、次に設定を変更するまで保持されます。

●次の場合はボイスチェンジがはたらきません。

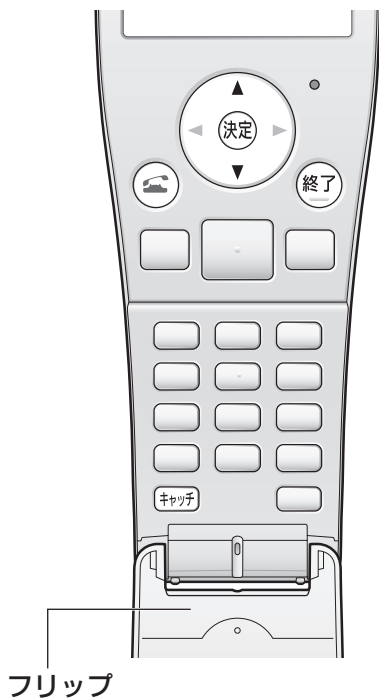
- 電話をかけたとき
- 電話をかけて通話中に、キャッチホンでかかってきたとき
- 並列電話機で受けた電話に、あとで子機で出たとき
（並列電話機については、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください）
- 子機どうしの内線通話中のとき（☞ 50ページ）

迷惑な電話をお断りする 通話拒否

メッセージを流して通話を拒否する

呼出音が鳴っているときや通話中に通話拒否の操作をすると、相手に通話を拒否するメッセージを流し、電話が切れます。

● 通話拒否についての詳細は、ご使用の電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

フリップ

1 呼出音が鳴っているとき、または通話中に

(決定)(電話メニュー)を押し、(十字キー)で[通話拒否]を選ぶ

2 **(決定)を押し、(十字キー)で[はい]を選ぶ**

3 **(決定)を押す**

● 相手にメッセージが2回流れ、電話が切れる

● ナンバー・ディスプレイサービスを利用しているときは(☞ 下記)

4 **(終了)を押す**

● メッセージの途中で押しても最後まで流れる

■ **ナンバー・ディスプレイサービス(契約が必要)を利用しているときは、通話拒否したあと、今後、電話を受けないようにすることができます**

迷惑登録しますか　または　拒否設定しますか　を表示中に

で**[はい]**を選ぶ ➔

を押す

● 電話番号を通知してきた相手、非通知の相手、公衆電話の相手、表示圏外の相手によって、着信拒否が設定されます。

お知らせ

● 通話拒否中は、スピーカーから通話拒否メッセージと相手の声を聞くことができます。
音量を変えるには ➔ (十字キー) を押す

● 呼出音が鳴っているときに通話拒否の操作をした場合は、メッセージ中に (通話) を押すと、電話に出ることができます。

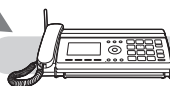
● 通話中に通話拒否の操作をした場合は、メッセージ中に (通話) を押すと、通話に戻ることができます。

● 電話をかけたときは使えません。

● (キャッチ) を押してキャッチホンを受けたときや、キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入ると、上記機能は、はたらきません。

内線通話をする 電話内線

● 内線通話できる相手：電話/ファクス親機や別の子機（電話/ファクス親機に登録されているもの）

呼び出す側

受ける側

1 充電台から子機を取り、

室内呼 を押し、 で[電話内線]を選ぶ

呼び出してきた子機の番号または名前※を表示

2 **決定 を押し、フリップを開けて相手の内線番号を押す**

- 電話/ファクス親機　：0
- 子機　：1 ～ 6
- すべての子機と電話/ファクス親機　：＊

■ **電話/ファクス親機で受けるとき**

受話器を取って話す

■ **別の子機で受けるとき**（例：VL-W607）

充電台から子機を取る、または

通話 を押して話す

3 相手が出たら、

話す

4 終わったら、終了 **を押す**

※ 子機で名前を登録している場合のみ
（☞ 65ページ「子機自身に名前をつける」）

お知らせ

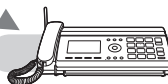
● **内線通話するときや電話をまわすとき**

- スピーカーホンでの通話はできません。
- **ご使用の電話/ファクス親機で、「内線呼出」を「音声」にしているとき**
  〈呼び出す側〉呼び出し操作後、呼出音が2回聞こえたあと、相手に呼びかけてください。
  〈受ける側〉　呼出音（1回）のあと、スピーカーから相手の声が聞こえたら応答してください。
- 子機が1台しかなく、お買い上げ後、一度もドアホンからの呼び出しがない場合は、上記手順2や51ページの手順1で、内線番号を押す操作は不要です。（自動的に電話/ファクス親機を呼び出します）

● **内線通話中に別の呼び出しがあったとき（☞ 92ページ）**

電話をまわす

●電話をまわせる相手：電話/ファクス親機や別の子機（電話/ファクス親機に登録されているもの）

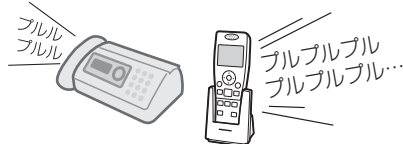
まわす側

受ける側

1

外の相手と通話中に、

[室内呼] を押し、フリップを開けて相手の内線番号を押す

- 電話/ファクス親機　：[0]
- 子機　：[1]～[6]
- すべての子機と電話/ファクス親機　：[＊]

●外の相手には曲が流れる

■**電話/ファクス親機で受けるとき**

受話器を取って話す

■**別の子機で受けるとき**（例：VL-W607）

充電台から子機を取る、または

[通話] を押して話す

2

相手が出たら、

電話をまわすことを伝える

3

[終了] を押す

■**外の相手と親機と3人で話すとき（3者通話）**

[室内呼] を押す

外の相手と話す

●終わったら、

〈電話/ファクス親機の場合〉 受話器を戻す

〈子機の場合〉 [終了] を押す

電話をまわすとき

■**まわす相手が出ないとき**

[外線] を押す（外の相手との通話に戻る）

■**まわす相手が近くにいるとき**

① [室内呼] を押し、[終了] を押す

② まわす相手に声をかける

➔ **〈電話/ファクス親機〉** 受話器を取る

➔ **〈まわす相手の子機〉** [外線] を押す

電話帳に登録する

最大150件まで登録できます。

- 電話帳で電話をかけるには(☞ 47ページ)
- 登録済みの相手先を、電話/ファクス親機へ転送するには(☞ 54ページ)

フリップ

1 ◎▶📖 を押し、(決定)(登録)を押す

電話帳登録
名前を入力

2 フリップを開けて [1〜0] で名前を入力する

(全角10文字／半角20文字まで)

- 文字入力·漢字変換のしかた(☞ 94、95ページ)

3 (決定)(登録)を押し、フリガナを確認する

半角12文字まで

松下 太郎
フリガナを入力
マツシタタロウ

- 間違っていれば修正する
  (修正のしかた ☞ 94ページ)

4 (決定)(登録)を押し、[1〜#] で
市外局番から電話番号を入力する

24ケタまで

松下 太郎
電話番号を入力
092123XXXX

- 間違えたとき ➔ (キャッチ)クリアー を押す

5 (決定)(登録)を押し、[1〜9] で
グループ番号を入力する(1〜9)

グループ＝1

- 入力しないときは、グループ1になる

6 (決定)(登録)を押す

- 続けて登録するとき ➔ 再度手順2へ
- 終わったら、(終了) を押す

■ **184や186をつけて電話番号を入力するとき**

[1][8][4](または[1][8][6])のあとに (ポーズ) を入れる
(ポーズを入れないと誤発信することがあります)

■ **途中でやめるとき**

(終了) を押す

■ **1〜9のグループ番号をつけて登録すると**

- グループ別に相手を探して電話をかけられる(☞ 47ページ)
- ナンバー・ディスプレイサービスを利用すれば、グループごとに呼出音の種類を変えることができる(☞ 59ページ)

■電話帳の登録／修正／消去／確認について

再ダイヤルから登録する	◁ を押す ➔ ▲▼ で相手を選ぶ ➔ 決定（電話メニュー） ➔ ▲▼ で**[電話帳に登録する]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ あとは、52ページの手順2からの操作をする（ただし、電話番号の入力は不要）
修正する	▷ を押す ➔ ▲▼ で修正する人を選ぶ ➔ 決定（電話メニュー） ➔ ▲▼ で**[修正する]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ あとは、52ページの手順2からの操作をする
消去する	▷ を押す ➔ ▲▼ で消去する人を選ぶ ➔ 決定（電話メニュー） ➔ ▲▼ で**[1件消去する]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ ▲▼ で**[はい]**を選ぶ ➔ 決定 ➔ 終了 を押す ●すべてを消去するには（☞ 75ページ「電話帳全消去」）
登録を確認する	▷ を押す ➔ ▲▼ で確認する ➔ 終了 を押す ● ▷ を押すと、次のフリガナ順に表示されます 数字（小さい順） → アルファベット（A～Z） → カナ（ア～ン） → 記号 → 電話番号（名前登録なし） ●よくかける相手を先に表示させたいとき フリガナの前に数字をつけて登録（例:「001ナカムラ」「002イイヅカ」…）すると、数字の小さい順に表示されます

お知らせ

- 時報（117）、天気予報（177）、電報（115）、番号案内（104）が、すでに登録されています。（修正・消去もできます）
- ファクス親機に増設しているときは、登録した電話帳をファクス親機でプリントすることができます。
  詳しくはご使用のファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話帳を転送する

登録した電話帳を、電話/ファクス親機へ個別または一斉に転送できます。

● **子機が2台以上の場合でも、子機から子機への転送はできません。**

子機を電話/ファクス親機の近くに持ってきてから転送してください。

1 機能 を押し、 で[電話帳転送]を選ぶ

１０オフフック応答
１１フリップ閉設定
１２外線鳴り分け
１３電話帳転送

2 決定 を押し、で[個別]または[一斉]を選ぶ

電話帳転送
個別
一斉

3

[個別]を選んだとき

① 決定 **を押す**

② **で転送する相手を選ぶ**

◀ ア行 ▶
赤川　太郎

③ 決定 **を押す**（転送開始）

●続けて転送するときは、再度手順②へ

[一斉]を選んだとき

① 決定 **を押す**

電話帳転送
一斉転送

② 決定 **を押す**（転送開始）

4 終わったら、終了 **を押す**

お知らせ

●転送先に同じ内容があるときは追加登録されません。
（名前が同じでも電話番号やグループが違うときは登録されます）

● **全件を一斉に転送したとき** ➔ を押して表示される順に転送（多いと時間がかかります）
➔ 転送先の空き件数がなくなると終了

●増設した電話/ファクス親機の電話帳に登録可能な件数以上は転送できません。

●カタカナ表示の電話/ファクス親機に転送すると、子機の電話帳の「フリガナ」部分が電話/ファクス親機の電話帳の「ナマエ」にカタカナで登録されます。

ファクスを受ける

ファクス受信できる電話/ファクス親機に増設しているときは、子機でファクス受信の操作ができます。

1 呼出音が鳴ったら、
充電台から子機を取る、または
(外線) を押す

2 通話後、または「ポーポー」音や無音のとき、
(決定) (電話メニュー)を押し、(上下) で
[ファクス受信]を選ぶ

3 **(決定) を押す**（受信開始）

● ファクス受信についての詳細は、ご使用の電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話（子機のみ）

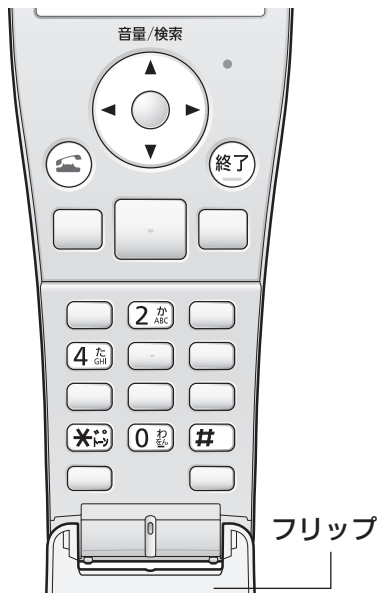
留守番電話を使う

子機の操作で、電話/ファクス親機の留守設定/解除（用件再生）ができます。
●留守番電話についての詳細は、ご使用の電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

お出かけ前に、留守設定する

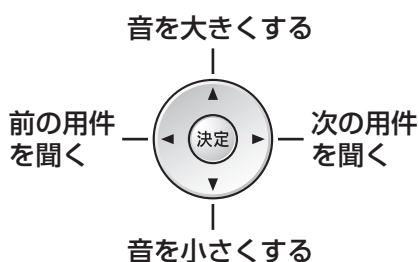
1. （音量/検索キー）を押す
2. フリップを開けて［＊］を押す
   ●「ピー」と鳴り、留守設定される
3. 終わったら、（終了）を押す

帰ってきたら、留守解除する

1. （音量/検索キー）を押す
2. フリップを開けて［0］を押す
   ●「ピー」と鳴り、留守設定が解除される
   ●用件があれば、再生される
3. 終わったら、（終了）を押す

■留守設定したまま新しい用件を聞く
① （音量/検索キー）を押す
② フリップを開けて［2］を押す

■あとからすべての用件を聞き直す
① （音量/検索キー）を押す
② フリップを開けて［4］を押す

お知らせ
●留守応答中でも、（外線）を押して電話に出ることができます。

用件再生中はこんなことができます

■再生をやめる
［#］を押す（再度聞くには［4］）

ナンバー・ディスプレイサービスを使う

ナンバー・ディスプレイサービス利用時は、子機でも57～59ページの機能が使えます。

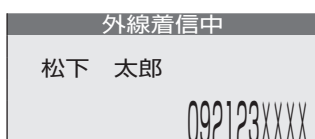
● **ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**契約や電話/ファクス親機の設定などについては、ご使用の電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

電話を受けるとき／かけるとき

電話がかかってくると…

相手の電話番号を表示

● 電話帳に登録した相手は、名前も表示

外線着信中
松下　太郎
092123XXXX

● ネーム・ディスプレイサービスを使うと、名前(最大10文字)と電話番号を表示※1
(電話帳に登録した相手は、電話帳の名前を表示)
- ネーム・ディスプレイで名前が表示されないとき
  ➔ かけてきた相手が名前を表示するようにNTTに申し込んでいないことがあります
- 子機で表示できない漢字があると、自動的に「※」に変わります

相手の電話番号を確認してから電話に出る

● 日時と電話番号を電話/ファクス親機の着信メモリーに記憶
(☞ 58ページ)

※1　ご使用の電話/ファクス親機がネーム・ディスプレイサービスに対応しているときのみ。

■ こんな表示が出たとき

表　示	相手がこんなとき	着信メモリー
非通知	電話番号を通知していない	記憶される
公衆電話	公衆電話から	
表示圏外	海外など番号を通知できない電話	
ー(表示なし)	回線状態が悪い	記憶されない

● **キャッチホン・ディスプレイサービス契約時は**
キャッチホンでかかってきた電話も相手の番号を表示(約30秒間)し、着信メモリーに記憶

電話をかけるとき…

自分の電話番号を相手に通知するかしないか(非通知)を選べます

	常に決めておく(回線ごと)	**かけるたびに選ぶ**(通話ごと)
通知するとき	NTTに「通常通知」申し込み	1 8 6 をつけてかける(☞ 46ページ)
通知しないとき	NTTに「通常非通知」申し込み	1 8 4 をつけてかける(☞ 46ページ)

電話（子機のみ）

着信メモリー（履歴）を見る・使う

電話/ファクス親機に記憶された着信メモリーを、子機でも見る・使うことができます。

●**ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**

■着信メモリーをすべて消去するとき

① （▼）を押す

② 決定（消去）を押し、（▲▼）で[はい]を選ぶ

③ 決定を押す

1 （▼）**を押す**

電話に出なかった件数 — 新規履歴（*）　3 件

着信メモリーの件数 — 着信履歴　5 件

（画面表示：着信メモリー検索／新規履歴（*）　3 件／着信履歴　5 件）

2 （▼）**を押す**

電話に出なかったときに表示 — *

電話帳の相手なら名前も表示 — 松下　太郎

（画面表示：着信メモリー検索／* 2/13　14:35／松下　太郎／092123XXXX）

●押すごとに新しい順に表示

3

電話をかけるとき

（外線）**を押す**

電話帳に登録するとき

① 決定（電話メニュー）**を押し、**（▲▼）**で[電話帳に登録する]を選ぶ**

② 決定**を押し、52ページの手順2から操作する**

（ただし、電話番号の入力は不要）

消去するとき

① 決定（電話メニュー）**を押し、**（▲▼）**で[1件消去する]を選ぶ**

② 決定**を押し、**（▲▼）**で[はい]を選ぶ**

③ 決定**を押す**

4 終わったら、終了**を押す**

相手によって呼出音の種類を変える（外線着信鳴り分け）

電話帳のグループ（事前に登録が必要 ☞ 52ページ）・非通知・公衆電話・表示圏外ごとに変えられます。

● **ナンバー・ディスプレイサービスの契約が必要です。**

子機の操作

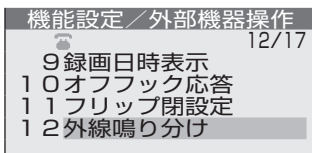
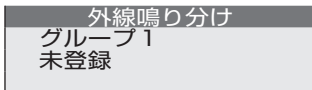
1 を押し、◎ で

[外線鳴り分け]を選ぶ

機能設定／外部機器操作
12/17
９録画日時表示
１０オフフック応答
１１フリップ閉設定
１２外線鳴り分け

2 **を押す**

3 ◎ **で鳴り分けするグループを選ぶ**

外線鳴り分け
グループ１
未登録

4 決定（変更）を押し、◎ で

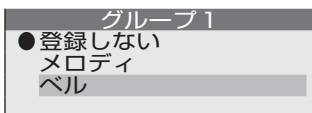
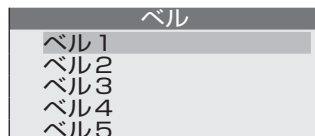
[ベル]または[メロディ]を選ぶ

現在の設定値 →

グループ１
●登録しない
メロディ
ベル

5 **を押し、◎ で音を選ぶ**

（例：ベルのとき）

ベル
ベル１
ベル２
ベル３
ベル４
ベル５

● 選んだベルやメロディが流れる

● 呼出音の種類は（☞ 63ページ）

6 決定 **を押す**

●「ピー」と鳴り、手順3の画面を表示

7 終わったら、

終了 **を押す**

■**鳴り分けを解除するには**

手順4で**[登録しない]**を選ぶ

お知らせ

● キャッチホン・ディスプレイをご利用時、通話中にキャッチホンが入っても外線着信鳴り分けははたらきません。

● 電話帳に登録していない電話番号からかかってくると、63ページで設定した呼出音が鳴ります。外線着信鳴り分けで、これと同じ呼出音を選ぶと、区別がつかなくなります。

➔ 上記の鳴り分け設定では、63ページで設定した呼出音以外を選ぶことをお勧めします。

呼出音量を変える

ドアホン親機や子機で鳴る呼出音量は、下記のようにそれぞれ変更することができます。

ドアホン親機の場合

・ドアホンからの呼び出し　　　：３段階＋「切」
・室内呼び出し（ドアホン室内呼）：３段階

1 画面をタッチし、トップメニューの **設定** **をタッチする**

2 **呼出音の設定** **をタッチする**

3 **呼出音量** **をタッチする**

4 **音量を変えたい項目をタッチする**

5 **設定する音量をタッチする**

●選んだ音量で呼出音が鳴る

6 メッセージを確認して **はい** **をタッチする**

●「ピー」と鳴り、手順4の画面を表示

7 終わったら、 **終　了** **を押す**

お知らせ

●呼出音量は、それぞれの機器からの着信中に下記の操作で変更することもできます。

①〈ドアホンからの着信中の場合〉
音 ➔ 呼出音量 をタッチする
〈室内呼の着信中の場合〉
呼出音量 をタッチする

② 小さく または 大きく をタッチする

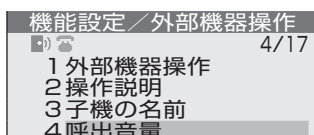
ドアホンの呼出音量を「切」（鳴らない）にするには
切 と表示されるまで 小さく をタッチし続ける
●「切」を解除するには➔ 大きく をタッチする

子機の場合

- ドアホンからの呼び出し　：３段階＋「切」
- 室内呼び出し（電話内線を含む）：３段階
- 外線（電話）の呼び出し※1　：「ステップトーン」※2＋３段階＋「切」

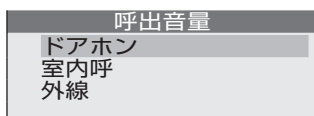
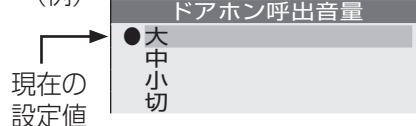
※1 電話の子機としても利用しているときのみ変更できます。
※2 **「ステップトーン」**とは、呼出音量が「小→中→大」で１段階ずつ大きくなる設定です。

1 機能 を押し、 で [呼出音量] を選ぶ

機能設定／外部機器操作
4/17
１外部機器操作
２操作説明
３子機の名前
４呼出音量

2 決定 を押し、 で 音量を変えたい項目を選ぶ

3 決定 を押し、 で音量を選ぶ

（例）

現在の設定値

● 選んだ音量で呼出音が鳴る
- 「切」は「ピピッピピッ」と鳴る
- 外線の場合、ステップトーンは「小」で鳴る

4 決定 を押す

● 「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示

5 終わったら、終了 **を押す**

お知らせ

● 呼出音量は、それぞれの機器からの着信中に を押して変更することもできます。

（例）

を押して小さく

を押して大きく

■ **呼出音量を「切」（鳴らない）にするには**
（ドアホン、外線のみ）
「ピピッピピッ」と鳴るまで を押し続ける

● 「切」を解除するには➔ を押す

■ **外線の呼出音量を「ステップトーン」にするには**
で （ステップトーン）を選ぶ
● 「ステップトーン」を解除するには
➔ を押す

呼出音量を変える

呼出音の種類を変える

ドアホン親機の場合

ドアホンからの呼出音を変更できます。

● 室内呼び出し（ドアホン室内呼）の呼出音は変えられません。

1 画面をタッチし、トップメニューの **設定** をタッチする

2/10（水）12:34
お手入れ　情報表示　設定

2 **呼出音の設定** をタッチする

3 **呼出音** をタッチする

4 設定するドアホンをタッチする

5 設定する音をタッチする

（例）

現在の設定値

● 選んだ音が鳴る

● 「繰り返し」を選んだ場合も、ここで鳴るのは1回のみ

6 メッセージを確認して **はい** をタッチする

● 「ピー」と鳴り、手順4の画面を表示

7 終わったら、**終了** を押す

■ ドアホンからの呼出音の種類

お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」、ドアホン2「音2」

種類	内　容
音1	ピーンポーン
音1繰り返し	ピーンポーン※
音2	プルルルルルル…
音2繰り返し	プルルルルルル…※
音3	ポーンポーンポーン
音3繰り返し	ポーンポーンポーン※
音4	ピンポーンピンポーン
音4繰り返し	ピンポーンピンポーン※

※ ドアホン着信中、約5秒間隔で、それぞれの音を繰り返します。
ただし、「ドアホン側で鳴る音」「通話中に鳴る呼出音」は繰り返しません。

子機の場合

ドアホンからの呼出音を変更できます。
子機を電話の子機としても利用している場合は、電話がかかってきたとき(外線)の呼出音を変更できます。
●室内呼び出し(ドアホン室内呼)や内線呼び出し(電話内線)の呼出音は変えられません。

1 機能 を押し、 で[呼出音]を選ぶ

2

ドアホンからの呼出音を変えるとき

決定 を押し、 で設定するドアホンを選ぶ

呼出音
ドアホン1
ドアホン2

外線の呼出音を変えるとき

① 決定 を押し、 で[外線]を選ぶ

呼出音
ドアホン1
ドアホン2
外線

② 決定 を押す

現在の設定値 →

外線呼出音
ベル1

③ 決定 (変更)を押し、 で[ベル]または[メロディ]を選ぶ

3 決定 を押し、 で音を選ぶ

(例)

●選んだ音が鳴る
●「繰り返し」を選んだ場合も、ここで鳴るのは1回のみ

4 決定 を押す

●「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示

5 終わったら、 終了 を押す

■ ドアホンからの呼出音の種類

(☞ 62ページ)

お買い上げ時の設定：ドアホン1「音1」
ドアホン2「音2」

■ 外線の呼出音の種類

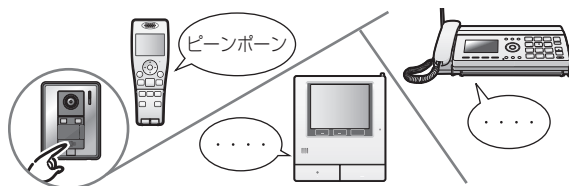
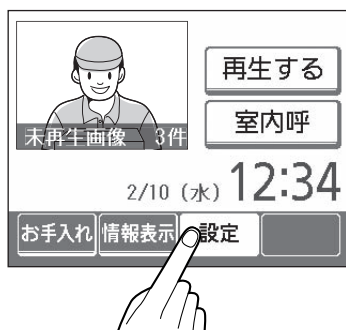
お買い上げ時の設定：「ベル1」

種類	画面表示	内　容
ベル	ベル1〜ベル5	5種類のベルがあります
メロディ	JUPITER	JUPITER
	ヴァルキューレ	ヴァルキューレの騎行
	CANTATA	CANTATA(主よ、人の望みの喜びよ)
	クルミ割り人形	くるみ割り人形

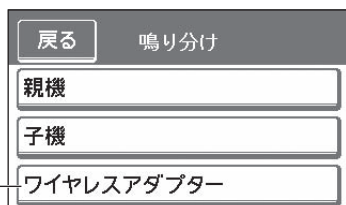
© 2006 Copyrights Vision Inc.

着信させるドアホンを指定する（鳴り分け）

ドアホン親機や子機に着信させたくないドアホンがあるときは、下記の設定で「鳴らない」にしてください。

- ワイヤレスアダプター機能で接続した電話/ファクスに対しても、鳴り分け設定ができます。
- 設定はドアホン親機で行います。
- お買い上げ時の設定：すべて「鳴る」

1 画面をタッチし、トップメニューの
設定 をタッチする

2 **応答の設定 をタッチする**

3 **鳴り分け をタッチする**

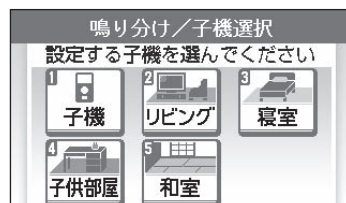
4 **鳴り分けを設定する室内機器をタッチする**

電話/ファクスの場合はここをタッチする

5 [親機]や[ワイヤレスアダプター]を選んだとき

手順6に進む

[子機]を選んだとき

設定する子機をタッチする

（例：子機を5台登録している場合）

6 **着信させたくない機器をタッチする**

7 **鳴らない をタッチする**

- 「ピー」と鳴り、手順4の画面を表示

8 終わったら、**終 了 を押す**

お知らせ

- 下記の場合は、「鳴らない」に設定したドアホンからも着信します。
  - ドアホンとの通話中（モニター中）
  - 室内呼び出し中、室内通話中

子機に名前をつける

ドアホン親機で子機に名前をつける

ドアホン親機で子機を呼び出して室内通話をする場合など、子機を区別しやすいように名前をつけることができます。

● 設定はドアホン親機で行い、子機の設置場所に応じて「子供部屋」「書斎」「寝室」など、決められた8種類の中から選びます。（☞ 71ページ「子機の名前」）
● この名前は子機自身には表示されません。

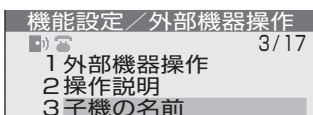
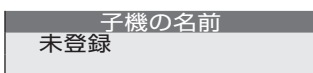
室内呼び出しの子機選択画面
（☞ 44ページ）

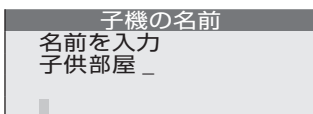
子機自身に名前をつける

子機の待ち受け画面に表示する名前を登録できます。全角6文字/半角12文字以内で自由につけられますが、ドアホン親機で設定した名前(上記)と同じにしておくことをお勧めします。

1 **機能 を押し、 で[子機の名前]を選ぶ**

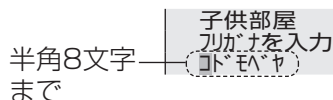
2 **決定 を押す**

子機の名前
未登録

3 **決定（変更）を押し、フリップを開けて、名前を入力する**
（全角6文字／半角12文字まで）

子機の名前
名前を入力
子供部屋 _

● 文字入力・漢字変換のしかた
（☞ 94、95ページ）

4 **決定（登録）を押し、フリガナを確認する**

子供部屋
フリガナを入力
ｺﾄﾞﾓﾍﾞﾔ

半角8文字まで

● 間違っていれば修正する
（修正のしかた ☞ 94ページ）

5 **決定（登録）を押す**

●「ピー」と鳴り、手順2の画面を表示

6 終わったら、
終了 を押す

お知らせ

● **電話の子機としても利用しているとき**
電話の内線呼出（☞ 50ページ）の際、呼び出しを受ける電話/ファクス親機や別の子機のディスプレイに名前を表示します。
• 受ける側が漢字を表示できない機種の場合は、登録したフリガナを表示します。
• 増設した電話/ファクス親機がKX-PW503のときは、受ける側の子機が漢字を表示できる場合でも、登録したフリガナを表示します。

例）
子機１から着信中
子供部屋

お好み設定

最初に映し出す映像の表示設定をする

ワイド/ズーム設定をする(着信画面設定)

ドアホンからの呼び出しで画面に最初に映し出す映像を、ワイドにするかズームにするかを設定します。

● 設定はドアホン親機で行います。

お知らせ

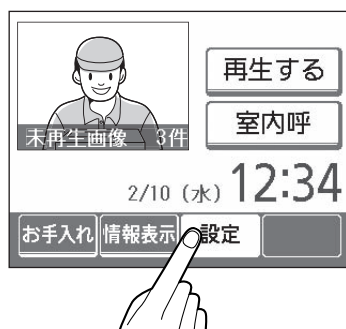
● 上記でどちらかに設定しても、着信中・通話中・モニター中に一時的にワイドとズームを切り替えることができます。(☞ 29、31ページ)

● 設定を「ズーム」に変えると、着信時の自動録画もズーム画像が録画されます。
(録画再生時にワイドにすることはできません)

ズーム位置を決める(ズーム位置設定)

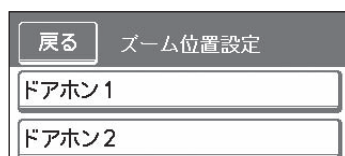
映像をズームで表示するときに最初に映す位置を、画面にタッチして設定します。

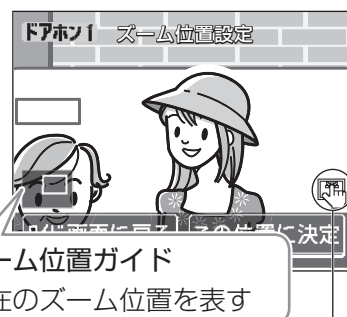
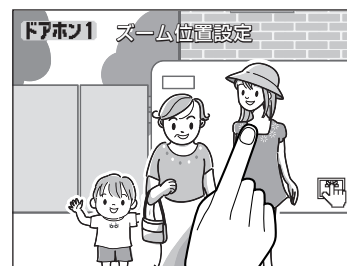
● 設定はドアホン親機で行います。

1 画面をタッチし、トップメニューの

設定 をタッチする

2 **最初の設定 をタッチする**

3 **ズーム位置設定 をタッチする**

4 **設定するドアホンをタッチする**

● 現在のドアホン映像がワイドで表示される

5 **ズームしたい位置をタッチする**

● 表示中は、タッチするごとにズーム位置を調整できる

6 表示されている位置で設定するとき、

この位置に決定 をタッチする

● 「ピー」と鳴り、「設定しました」を表示して自動的に終了する

● ﾜｲﾄﾞ画面に戻る をタッチすると手順5の画面に戻る

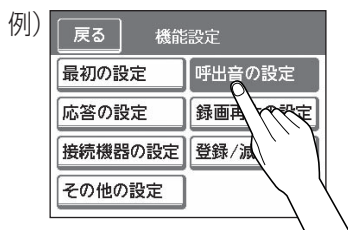
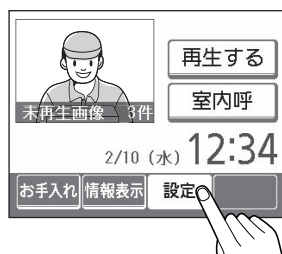
お知らせ

● ドアホン映像は約90秒で自動的に終了します。操作途中でドアホン映像が終了した場合、設定は完了していません。(もう一度最初からやり直してください)

● 上記でズーム位置を設定しても、着信中・通話中・モニター中に一時的にズーム位置を切り替えることができます。(☞ 29ページ)

機能設定一覧表 ドアホン親機

ドアホン親機で変更できる機能設定の一覧は、下表のとおりです。
必要に応じて変更してください。

●機能設定中に着信があったときや、約90秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

● [ ] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	機能名	設定内容と概要	設定方法(ページ)
最初の設定	**日時設定**	●現在の日付・時刻を設定する	25
	ズーム位置設定	●ズーム画面で最初に映す位置を選ぶ 〈ドアホン1、2で個別に設定〉	67
	着信画面設定	**ズーム**、[**ワイド**] 〈ドアホン1、2で個別に設定〉 ●着信時、ドアホン親機や子機で最初に映し出す映像をズームにするかワイドにするかを選ぶ	66
呼出音の設定	**呼出音量**	**ドアホン** ：[**大**]、**中**、**小**、**切** **室内呼** ：[**大**]、**中**、**小** ●ドアホン親機で鳴る呼出音の音量を選ぶ	60

● ［　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	機能名	設定内容と概要	設定方法(ページ)
呼出音の設定	呼出音	ドアホン1 ：**音1**、音1 繰り返し、音2、音2 繰り返し 音3、音3 繰り返し、音4、音4 繰り返し ドアホン2 ：音1、音1 繰り返し、**音2**、音2 繰り返し 音3、音3 繰り返し、音4、音4 繰り返し ● ドアホン親機で鳴る、ドアホンからの呼出音の種類を選ぶ	62
応答の設定	音声応答	する、**しない** ●「する」にすると、ドアホンからの呼び出しや室内呼び出し（ドアホン室内呼）に、［通 話］を押さずに「はーい」などの音声で応答できる（☞ 26ページ） • 音声応答設定後も、［通 話］を押して応答できます	68 上部
	鳴り分け	**鳴る**、鳴らない 〈ドアホン1、2で個別に設定〉 ● 着信させたくないドアホンは「鳴らない」を選ぶ	64
	ボイスチェンジ	**通常**、低め ●「低め」を選ぶと、ボイスチェンジの声がさらに低くなる	68 上部
録画再生の設定	再生ランプ点滅	**する**、しない ●「する」の場合、新しい自動録画（未再生）があると点滅でお知らせする	
	ドアホン録画数	**8枚**、1枚 〈ドアホン1、2の個別設定はできない〉 ● ドアホン録画1件あたりの画像枚数（☞ 36ページ）を選ぶ •「8枚」の場合、録画件数は最大50件（「1枚」では最大100件）で、「1枚」に比べて画質も粗くなります。 録画件数や画質を優先したいときは、「1枚」を選んでください。	
	録画開始時間	**標準**（約2秒）、遅い（約3秒） 〈ドアホン1、2の個別設定はできない〉 ● 自動録画で、夜間などの映像が映りにくいときは「遅い」を選ぶ	

機能設定一覧表 ドアホン親機 （つづき）

● ［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	機能名	設定内容と概要	設定方法（ページ）
録画再生の設定	ドアホン自動録画	［する］、しない　〈ドアホン1、2で個別に設定〉 ●自動録画（☞ 36ページ）をやめるときは、「しない」を選ぶ	70 上部
	画像全消去	すべての画像を消去、保護画像を残して消去 ●保護画像も含めてすべての画像を消去するときは「すべての画像を消去」を選ぶ	
接続機器の設定	ドアホン接続	ドアホン1：［あり］、自動判定、なし ドアホン2：あり、［自動判定］、なし ●使わなくなったドアホンは「なし」を選ぶ	
	ドアホンの名前	ドアホン番号（1～2）　〈ドアホン1、2で個別に設定〉 ［ドアホン○］、玄関、門、勝手口 ●設置場所に応じて、ドアホン1～2の名前を選ぶ（設定した名前は、次のときに表示されます） ・ドアホン親機で、ドアホンの着信中/通話中/通話転送中/モニター中/録画再生中 ・ドアホン親機や子機で、ドアホンのモニター先を選ぶとき（☞ 34、35ページ）	

● [ ] のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

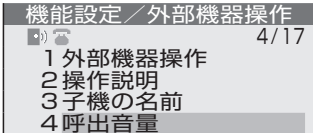
項目	機能名	設定内容と概要	設定方法(ページ)
接続機器の設定	子機の名前	**[子機]、子供部屋、書斎、寝室、洋室、和室、リビング、キッチン** 〈子機1～6で個別に設定〉 ●設置場所に応じて、子機の名前を選ぶ (設定した名前は、次のときにドアホン親機の画面にのみ表示されます) • 室内呼び出し(通話転送を含む)で呼び出し先を選ぶとき/呼び出し中や着信中/通話中	70 上部
	ドアホン照明自動点灯	**[する]、しない** 〈ドアホン1、2で個別に設定〉 ●「する」の場合、ドアホン側が暗いときに下記の操作をすると、自動的にドアホンのLEDライト(☞ 20ページ)が点灯する • ドアホン側で呼出ボタンが押されたとき • 室内からドアホンをモニターしたとき	
	センサー入力	**火災警報器、外部センサー、地震警報器、[なし]** ● ドアホン親機のセンサー入力端子に接続する機器を選ぶ	
	中継アンテナ	〈中継アンテナ1、2で個別に設定〉 ●中継する子機(1～6)を変更できる(登録している子機しか選べません)	
	A接点出力	**[ON]、OFF** 〈ドアホン1、2で個別に設定〉 ●ドアホン親機のA接点出力端子に接続した機器(光るチャイムなど)は、設定を「ON」にしたドアホンの呼び出しに連動する	79
	外部機器ボタン	**電気錠、機器、[なし]** 〈外部機器1、2で個別に設定〉 ●ドアホン親機に「外部機器」として登録する機器を選ぶ	80
登録/減設	登録	●各機器の登録(増設)/減設をする • 子機 • 中継アンテナ • ワイヤレスアダプター機能に対応した電話/ファクス	(登録/減設) 85/88 87/88 83/84
	減設		

機能設定一覧表 ドアホン親機 (つづき)

● ［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

項目	機能名	設定内容と概要	設定方法(ページ)
その他の設定	タッチ確認音	**ON**(出す)、 OFF (出さない) ●タッチしたときに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ	72 上部
	設定の初期化	**設定の初期化＋全画像を消去、設定の初期化のみ** ●ドアホン親機の設定をお買い上げ時の状態に戻すとき、どちらかを選ぶ (廃棄・譲渡・返却するときは、「設定の初期化＋全画像を消去」を選ぶ) ●設定の初期化をしても、下記の項目は初期化されません •「接続機器の設定」内にある、「中継アンテナ」の設定 • ドアホン親機に登録した、子機、中継アンテナ、ワイヤレスアダプター機能の登録情報 ●火災警報器などを接続してご使用の場合、初期化をすると、センサー履歴(☞ 93ページ)の情報も消去されます	
	展示モード	**通常は使わないでください**(店頭販売時の展示用などに使う) **ドアホン自動呼出なし、ドアホン自動呼出あり、商品説明、しない**	

機能設定一覧表 子機

子機で変更できる機能設定の一覧は、下表のとおりです。
必要に応じて変更してください。

● 機能設定中に着信があったときや、約60秒間操作を行わなかったときは、設定が中断されます。

子機で 設定を変更するとき

 を押し、 で機能名を選ぶ → を押し、で設定内容を選ぶ

例）機能設定／外部機器操作 4/17
1 外部機器操作
2 操作説明
3 子機の名前
4 呼出音量

● 機能によっては、この操作を繰り返す

→ を押す → 終わったら、終了を押す

● ［網掛け］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要	設定方法（ページ）
外部機器操作	● 電気錠やエアコンなどの機器を操作する※（☞ 81ページ） （※ドアホン親機に「外部機器」として登録時のみ☞ 80ページ）	–
操作説明	● 子機の操作説明を表示する	73 上部
子機の名前	● 子機に名前をつける	65
呼出音量	ドアホン ：［大］、中 、小 、切 室内呼 ：［大］、中 、小 ★外　線 ：ステップトーン、大、［中］、小、切 ● 子機で鳴る呼出音の音量を選ぶ	61
呼出音	ドアホン1 ：［音1］、音1 繰り返し、音2 、音2 繰り返し 音3 、音3 繰り返し、音4 、音4 繰り返し ドアホン2 ：音1 、音1 繰り返し、［音2］、音2 繰り返し 音3 、音3 繰り返し、音4 、音4 繰り返し ★外線 ベル ：［ベル1］、ベル2、ベル3、ベル4、ベル5 メロディ ：JUPITER、ヴァルキューレ、CANTATA、クルミ割り人形 ● 子機で鳴る呼出音の種類を選ぶ	63

★ 電話/ファクス親機に増設時のみ表示されます。

機能設定一覧表（子機）（つづき）

子機で設定を変更するとき

［機能］を押し、で機能名を選ぶ → （決定）を押し、で設定内容を選ぶ

●機能によっては、この操作を繰り返す

例）
→（決定）を押す → 終わったら、（終了）を押す

●［　　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要	設定方法（ページ）
キー確認音	［ON］（出す）、OFF（出さない） ●ボタンを押すたびに鳴る「ピッ」音を出すか、出さないかを選ぶ	74 上部
ボイスチェンジ	［通常］、低め ●「低め」を選ぶと、ボイスチェンジの声がさらに低くなる	
コントラスト	●子機のモニター画面の表示が見えにくいとき、コントラスト（表示濃度）を5段階で調整する お買い上げ時の設定 → ▲濃い ▼薄い	
録画日時表示	［常時］、3秒表示（画像1件につき、3秒間だけ表示） ●「3秒表示」を選ぶと、録画再生時に画像に重なって表示される録画日時欄を含むガイド（下図の［　］部）が約3秒後に自動で消える （表示直後） ☆未再生　5　2/13　20:00 ◎画像メニュー　▶次のコマ （約3秒経過後）	

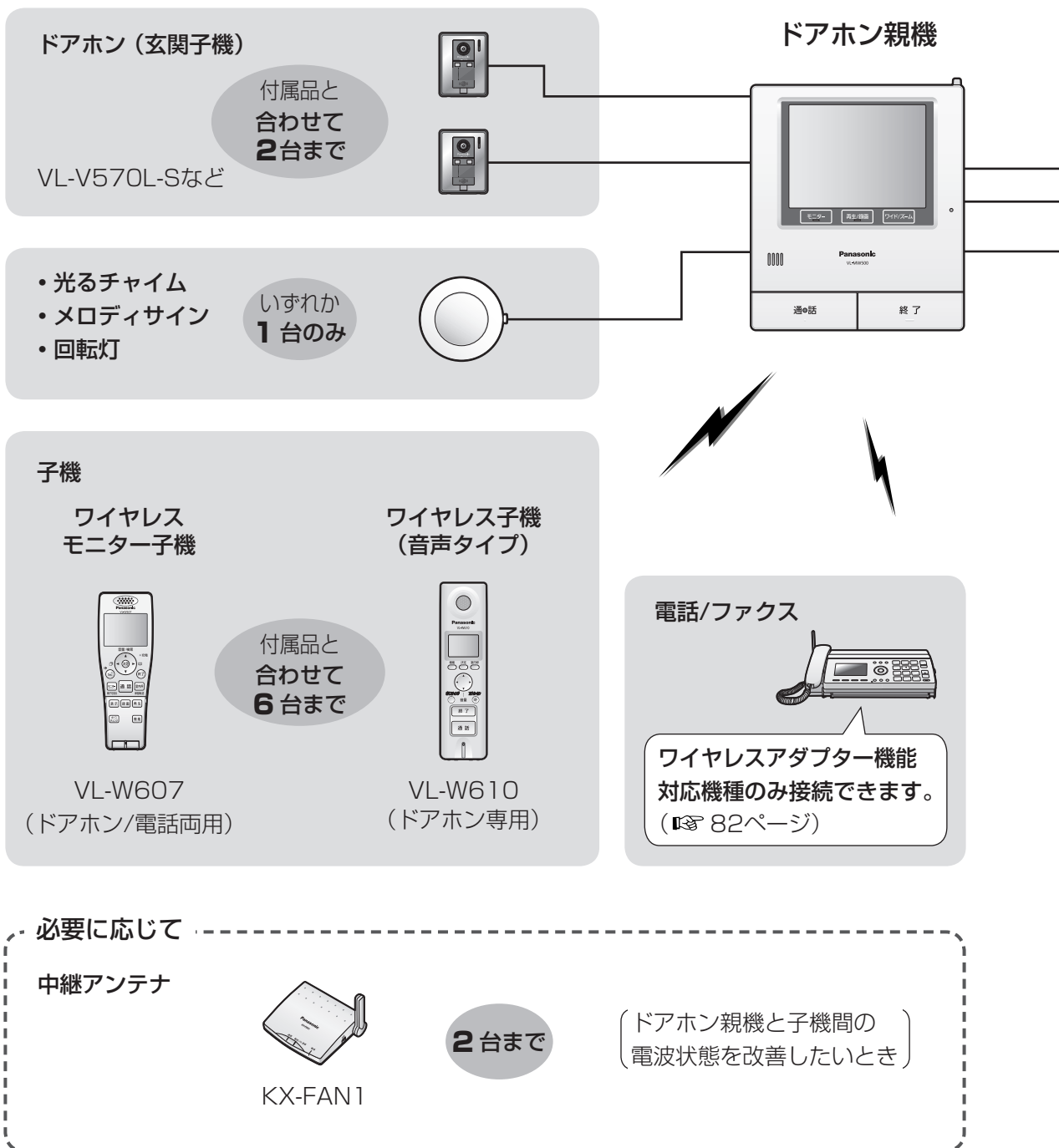
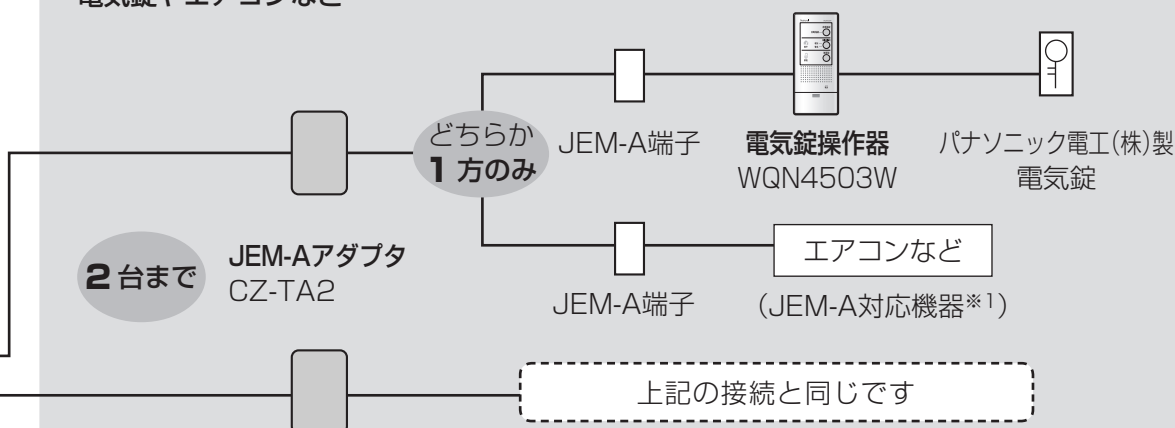
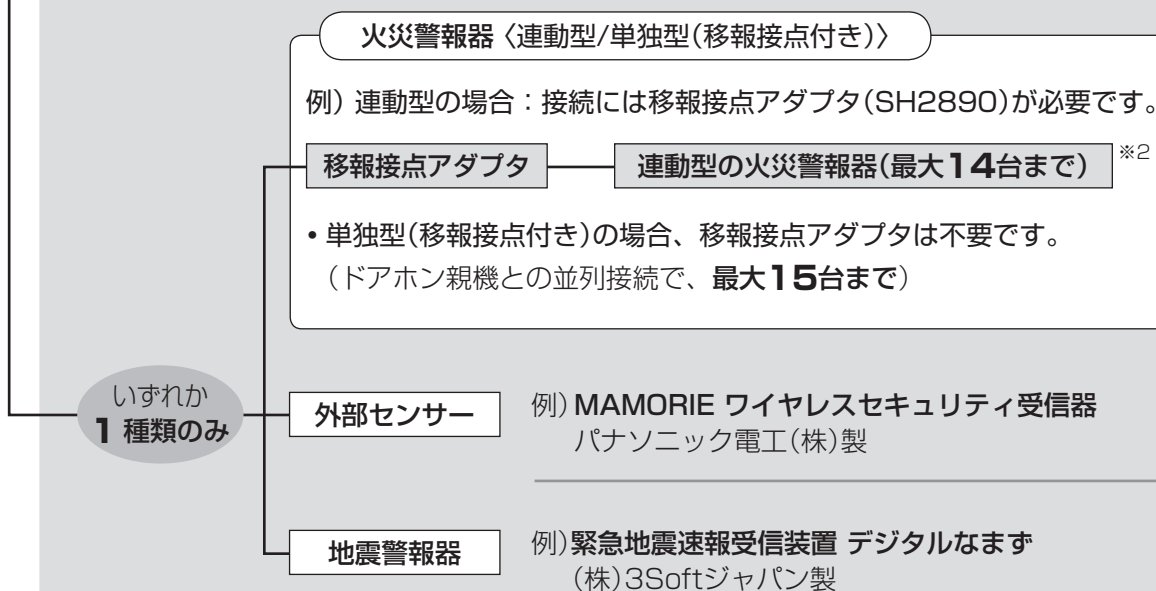
●［　］のついている内容が、お買い上げ時の設定です。

機能名	設定内容と概要	設定方法(ページ)
★ オフフック応答	ON、OFF ●「ON」の場合、電話(外線/内線)や室内呼び出し(ドアホン室内呼)があったときに、充電台から子機を取るだけで応答できる ●「OFF」の場合、外線は（外線ボタン）、電話内線やドアホン室内呼は 通話 を押して応答する	74 上部
★ フリップ閉設定	電話を続ける、電話を切る ●「電話を切る」にすると、外線通話中にフリップを閉じて電話を切ることができる	
★ 外線鳴り分け	●ナンバー・ディスプレイサービスを使うとき、相手によって呼出音の種類を変える • 電話帳のグループ(1~9)、非通知、公衆電話、表示圏外ごとに設定できる	59
★ 電話帳転送	個別、一斉 ●子機の電話帳の内容を電話/ファクス親機に転送する	54
★ 電話帳全消去	はい、いいえ ●子機の電話帳の内容をすべて消去する	74 上部
★ 動作モード	ドアホン/電話、ドアホン、電話 ●電話とドアホンの両方の機能を使う場合は「ドアホン／電話」、ドアホン専用子機として使う場合は「ドアホン」、電話専用子機として使う場合は「電話」を選ぶ	
子機増設	●子機をドアホン親機、電話/ファクス親機に登録する	85 24
設定の初期化	はい、いいえ ●子機の設定をお買い上げの状態に戻す • 設定の初期化をしても、ドアホン親機や電話/ファクス親機※に登録された子機の登録情報は消えません (※電話/ファクス親機に登録してご使用時)	74 上部

★ 電話/ファクス親機に増設時のみ表示されます。

こんな機器の増設・連携ができます（システム構成図）

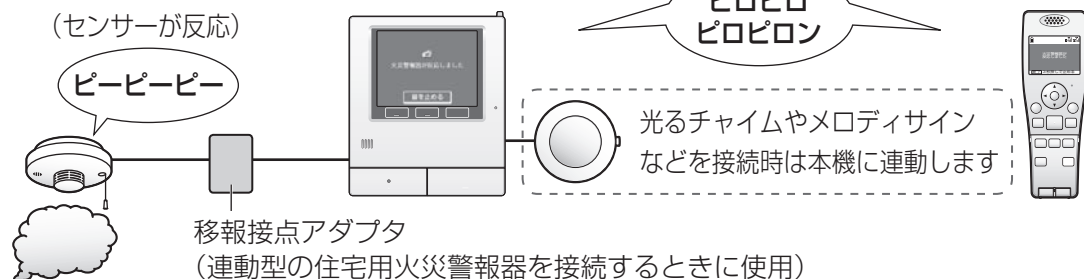
ドアホン親機に下記の機器を接続／登録して、さらに使いやすいシステムにできます。

- 下記の配線はイメージです。ドアホン親機との配線の詳細は工事説明書をお読みください。
  また、接続する機器の設置や使いかたは、それぞれの機器の説明書をお読みください。
- **増設できる別売品や推奨品の一覧は（☞ 100ページ）**

※1 (社)日本電機工業会(JEMA)の統一規格に適合している機器を指します。この規格は家庭内機器(エアコンなど)の動作/停止などを遠隔制御および監視するための制御端子および信号について規定しています。

※2 接続できる連動型の火災警報器については、移報接点アダプタの説明書をご覧ください。

火災警報器などのセンサー機器を接続して使う

火災警報器、外部センサー、地震警報器のいずれかを接続したときは、71ページの**「センサー入力」設定が必要です。設定すると、センサー反応時に通知音(最大音量)と画面表示で下記のようにお知らせします。**

例)火災警報器

● 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。
● 通知音と画面表示は、センサー反応が終わるか、最大3分経過すると自動的に終了します。

■ **通知音と画面表示をすぐに終了したいとき**(鳴り始めから約5秒間は終了できません)

〈ドアホン親機〉 音を止める をタッチする

〈子　機〉 終了 を約3秒間押す

どちらかで終了操作をすると、ドアホン親機とすべての子機の通知音と画面表示が消える

■ **通知音と画面表示について**

接続したセンサー機器	通知音(音量は固定)	画面表示
火災警報器	ピロピロピロピロン	火災警報器が反応しました
外部センサー	プルルルプルルル	外部センサーが反応しました
地震警報器	ピロピロピ・ピロピロピ	地震速報を受信しました

お願い

● 接続したセンサー機器の点検時は、ドアホン親機や子機の動作も確認してください。

お知らせ

● ドアホン通話中や室内通話中、接続したセンサー機器が反応すると、通話が切れて通知音が鳴ります。
● **子機を電話の子機としても利用しているとき**
• 外線や内線通話中、接続したセンサー機器が反応したときは、右のような表示になり、受話口から通知音が聞こえます。
➔ 通話を終了したあと、終了 を約3秒間押すと、通知音と画面を終了できます。
• 接続したセンサー機器が反応中でも、子機では電話をかけたり受けたりすることができます。(その他の操作はできません)

(例)

● 下記の場合、子機からは通知音が鳴らない(画面表示もしない)ことがあります。
• ドアホン親機から離れすぎていたり、間に障害物などがある場合(☞ 11ページ)
• 子機の電池が切れている場合
● センサー反応の履歴(最新情報6件)をあとで確認することもできます。(☞ 93ページ ③)

別売機器との連携

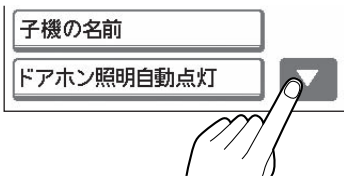
光るチャイムやメロディサインなどを接続して使う

光るチャイム、メロディサイン、回転灯は、下記の場合に本機に連動します。

- ドアホンから呼び出しがあったとき
  ➔ 設定により、連動させるドアホンを指定できます。(☞ 下記)
- 火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応したとき(☞ 78ページ)
  ➔ 常に連動します。設定で連動をやめることはできません。

●接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

● 光るチャイムやメロディサインなどを連動させるドアホンを指定する(A接点出力) ●

連動させたくないドアホンの設定を「OFF」にしてください。

●設定はドアホン親機で行います。

●お買い上げ時の設定：すべて「ON」

1 画面をタッチし、トップメニューの **設定** をタッチする

2 **接続機器の設定** をタッチする

3 **▼** をタッチする

4 **A接点出力** をタッチする

5 連動させたくないドアホンをタッチする

6 **OFF** をタッチする

●「ピー」と鳴り、手順5の画面を表示

7 終わったら、**終了** を押す

電気錠やエアコンなどを接続して使う

接続した機器を「外部機器」として登録すると、ドアホン親機や子機で各機器の操作ができます。（最大2台まで）

● 接続については、各機器の説明書と本機の工事説明書をお読みください。

ドアホン親機に外部機器として登録する

● お買い上げ時の設定：「なし」（未登録）

1 画面をタッチし、トップメニューの **設定** をタッチする

2 **接続機器の設定** をタッチする

3 **▼** をタッチする

4 **外部機器ボタン** をタッチする

A接点出力
外部機器ボタン

5 登録先の機器番号をタッチする

6 登録する機器名をタッチする

「電気錠」：電気錠の施錠/解錠
「機器」　：エアコンなどの機器のON/OFF

● 「ピー」と鳴り、手順5の画面を表示

7 終わったら、**終　了** を押す

お知らせ

● ドアホン親機では登録した機器名により右記のように表示されます。

（例：トップメニュー）

登録機器名	表示
電気錠のみ	電気錠
機器のみ	外部機器
電気錠と機器	外部機器

外部機器を操作する

操作できる場面	■ドアホン通話中・モニター中 （ドアホン親機の場合、ドアホン着信中も操作できます） ■待ち受け中

ドアホン親機の場合

■ ドアホン着信中・通話中・モニター中の操作

1 施錠/解錠（またはON/OFF）したいときに

電気錠 （または 外部機器 ）を タッチする

（例）

外部機器が2台あるとき

1：電気錠　2：電気錠

どちらかをタッチする

子機の場合

■ ドアホン通話中・モニター中の操作

1 施錠/解錠（またはON/OFF）したいときに

機能 を押す

（例：施錠するとき）

施錠しますか
はい
いいえ

外部機器が2台あるとき

選択してください
外部機器１：電気錠
外部機器２：電気錠

 でどちらかを選び、 を押す

2 **で［はい］を選び、 を押す**

■待ち受け中の操作

〈ドアホン親機の場合〉 画面をタッチしたあと、上記の手順を行う

〈子機の場合〉 機能 ➔ ［外部機器操作］を選ぶ ➔ 決定

外部機器が2台あるときは

➔ で操作したい機器を選ぶ ➔ 決定 ➔ 手順2を行う

● 上記の操作を行うと、外部機器の状態表示が下記のように変化します。

• 外部機器1を施錠または ONにしたとき

電気錠 1 2

緑になる

機器 1 2

• 外部機器1を解錠または OFFにしたとき

電気錠 1 2

黒になる

ワイヤレスアダプター機能で 電話/ファクスを接続して使う

ワイヤレスアダプター機能対応の電話/ファクスを無線で接続できます。**（1台のみ）**
接続すると、電話/ファクスでもドアホンとの通話ができます。

● ワイヤレスアダプター機能での接続設定が必要です。（☞ 83ページ）

接続できる電話/ファクス

ドアホン親機　　　　電話/ファクス親機

■ ワイヤレスアダプター機能対応機種（パナソニック製品：2010年2月現在）

● コードレス電話機

品番 VE-GP10、VE-GP20、VE-GP22、VE-GP24※、VE-GP30、VE-GP31、VE-GP32、VE-GP33、VE-GP34、VE-GP50、VE-GP51、 VE-GP52、VE-GP53、VE-GP54、VE-GP62、VE-SV08 シリーズ

※ VE-GP24TAは除く

● パーソナルファクス

品番 KX-PW211、KX-PW308、KX-PW320、KX-PW506、KX-PW507、KX-PW508、KX-PW520、KX-PW605、KX-PW606、KX-PW607、KX-PW608、KX-PW616、KX-PW820 シリーズ

■ ドアホン親機と電話/ファクス親機間の通信には電波を使うため、電話/ファクス親機の設置場所にご注意ください

● 親機同士の電波は、2.4～2.4835 GHzを使用します。
電子レンジなど、同じ電波を使用する機器が近くにあると、電波の干渉を受けることがあります。（☞ 12ページ）

● ドアホン親機との間に何も障害物がない場合、見通し約100 m以内の距離で使えます。

ドアホン親機との距離が離れていたり、100 m以内でも別の階や家屋で使ったり、間に障害物などがあるとき(☞ 11ページ)は、電波が弱くなり、電話/ファクスでのドアホン通話ができないことがあります。
また、付属の子機を電話/ファクス親機に登録しても、子機の電話機能が使えないことがあります。

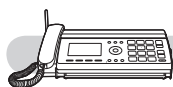
ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には中継アンテナが使えませんので、親機同士はできるだけ電波の強い場所に設置してください。

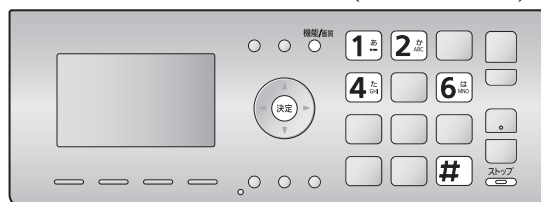
お知らせ

● **ドアホンアダプター(VE-DA10-H)での接続はできません。**
● 電話/ファクスを接続しても、ドアホン親機と電話/ファクス間では、内線通話やドアホン通話の転送はできません。
● ワイヤレスアダプター機能を使うときは中継アンテナの登録が制限されます。（☞ 86ページ）
● 接続後の使いかたは、電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。

接続設定をする

ドアホン親機と電話/ファクス親機間で、ワイヤレスアダプターの設定(増設)が必要です。
電話/ファクス親機に続けて、約2分以内にドアホン親機を操作してください。

● 電話/ファクス親機の操作はKX-PW508の例です。その他の機種の場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。(機種によっては子機で操作する場合もあります)

電話/ファクス親機の操作

(KX-PW508)

1 電話機コードを抜く
● 「電話機コードを接続してください」が表示されているときは、ストップ (電話機は[取消]ボタン)で表示を消してください

2 機能/画質 を押し、
1 6 4 を押す

ワイヤレスアダプター設定

3 (決定)を押す

減設=1
増設=2

4 2 を押す

ドアホン親機を
操作してください

続けて、約2分以内にドアホン親機を操作する

ドアホン親機の操作

5 画面をタッチし、トップメニューの
設定 をタッチする

6 登録/減設 をタッチする

7 登録 をタッチする

8 ワイヤレスアダプター機能 をタッチする
● 登録が完了すると、「登録完了」を表示
● 登録が終わったら、終了 を押す

登録後に必ず行ってください

■ドアホンの呼出ボタンを押し、電話/ファクス親機で音が鳴ることを確認する
(一度押さないとドアホンに呼びかけられない)
■電話機コードを接続する(電話/ファクス親機)
■設置場所で電波を確認する(☞ 93ページ ①)

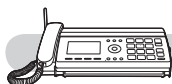
お知らせ

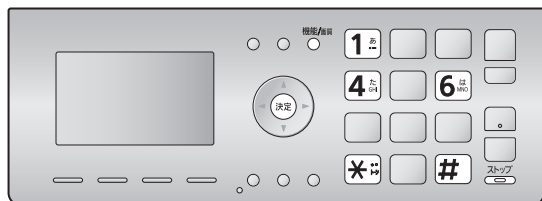
● 電話/ファクス親機に「プロトコルエラー」と表示され、手順3の画面に戻ったとき
➔ 手順4からやり直してください。
● ドアホン親機に「登録できません」が表示されたとき(☞ 109ページ)

電話/ファクスを接続して使う（つづき）

接続をやめるとき（減設）

電話/ファクス親機に続けて、ドアホン親機を操作してください。

● 電話/ファクス親機の操作はKX-PW508の例です。その他の機種の場合はそれぞれの取扱説明書をお読みください。（機種によっては子機で操作する場合もあります）

電話/ファクス親機の操作

（KX-PW508）

1 機能/画質 を押し、
#][1][6][4] を押す

ワイヤレスアダプター設定

2 （決定）を押す

減設=1
増設=2

3 [1] を押し、[＊] を押す

ドアホンを
減設しました

4 ストップ を押す

● 電話機は［取消］ボタンを押す

ドアホン親機の操作

5 画面をタッチし、トップメニューの
[設定] をタッチする

6 [登録/減設] をタッチする

7 [減設] をタッチする

8 [ワイヤレスアダプター機能解除] を
タッチする

9 メッセージを確認して
[はい] をタッチする

はい　いいえ

10 終わったら、
[終了] を押す

子機を増やす（増設）

別売の子機（☞ 100ページ）を、付属と合わせて6台まで増やせます。

● ドアホン/電話両用子機（VL-W607）の場合
- ドアホン機能を使うにはドアホン親機に
- 電話機能を使うには電話/ファクス親機に

それぞれ登録が必要です※
※電話/ファクス親機への登録（☞ 24ページ）

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に子機を操作してください。

● 子機の操作はVL-W607の例です。お使いの子機の取扱説明書もあわせてお読みください。

ドアホン親機の操作

1 画面をタッチし、トップメニューの **設定** をタッチする

2 **登録/減設** をタッチする

3 **登録** をタッチする

4 **子機** をタッチする

5 **増設する子機の名前をタッチする**

● 子機の名前は、あとで変更できる（☞ 71ページ「子機の名前」）

6 **増設する子機番号をタッチする**

続けて、約2分以内に子機を操作する

増設する子機の操作

7 **機能** **を押す**

● 下記のどちらかを表示

Ⓐ

Ⓑ

機能設定
1/14
1 操作説明
2 子機の名前

■ Ⓐの場合
① 続けて ◇ で **[ドアホン]** を選び、(決定) を押す

■ Ⓑの場合
① 続けて ◇ で **[子機増設]** を選び、(決定) を押す

② ◇ で **[ドアホン]** を選び、(決定) を押す

8 (決定) **を押す**

登録完了

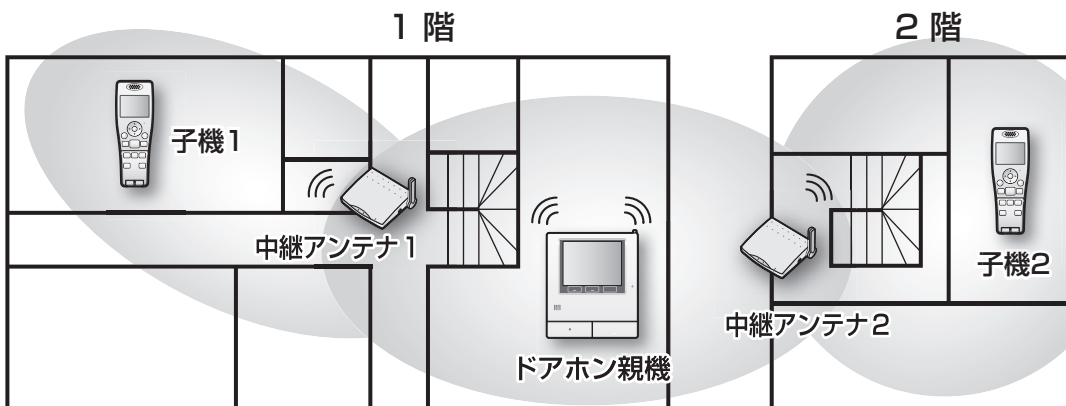
9 終わったら、
ドアホン親機の **終 了** **を押す**

中継アンテナを設置する 増設

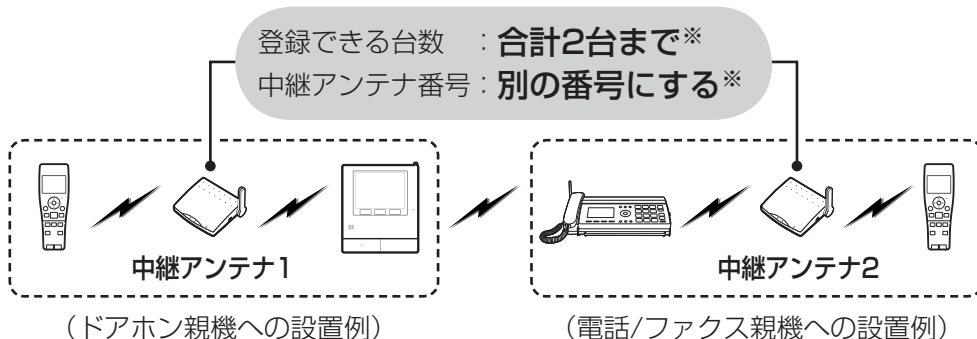
子機を使用するときに、通話の途切れや映像の乱れなどがある場合、別売の中継アンテナ（☞ 100ページ）を設置すると症状を改善できることがあります。

- **設置は最大2台まで。1台につき、子機を1台中継できます。**
- 部屋の造りや壁などにより電波の届く範囲が変わります。ドアホン親機に登録したあと、中継アンテナの説明書に従って適切な位置に設置してください。

〈電波のイメージと設置例〉

- ドアホン親機に中継アンテナを2台登録し、1台を子機1用、1台を子機2用に使うとき

■ ドアホン親機と電話/ファクス親機に、それぞれ中継アンテナを登録して使うとき

子機（VL-W607）を電話/ファクス親機に登録したり、ドアホン親機と電話/ファクス親機をワイヤレスアダプター機能で接続（☞ 83ページ）すると、親機同士を電波で接続します。
この場合、下記の設置例のように中継アンテナの登録が制限されます。

（ドアホン親機への設置例）　（電話/ファクス親機への設置例）

※3台以上登録しているときや、同じ番号になっているときは、ドアホン親機の画面表示でお知らせします。（☞ 108ページ）

- ドアホン親機と電話/ファクス親機の間には、中継アンテナは使えません。
- 1台の中継アンテナを、ドアホン親機と電話/ファクス親機の両方に登録することはできません。
- 1台の子機をドアホン/電話両用で使う場合、両方の親機から電波が届きにくい場所に子機を設置すると、中継アンテナが2台必要です。

ドアホン親機に登録する

ドアホン親機に続けて、約2分以内に中継アンテナを操作してください。

ドアホン親機の操作

1 画面をタッチし、トップメニューの

設定 をタッチする

2 **登録/減設 をタッチする**

3 **登録 をタッチする**

4 **中継アンテナ をタッチする**

5 **増設する中継アンテナ番号をタッチする**

6 **中継する子機をタッチする**

（例：子機が5台登録されている場合）

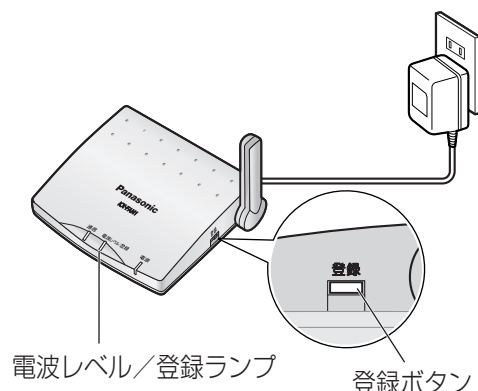
- 中継する子機は、あとで変更できる
  （☞ 71ページ「中継アンテナ」）

続けて、約2分以内に中継アンテナを操作する

増設する中継アンテナの操作

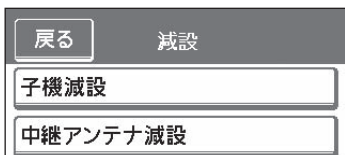
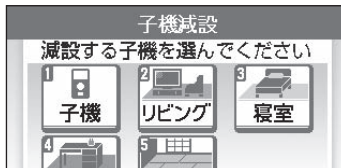
7 電源を入れた状態で、

登録ボタンを約3秒間押す

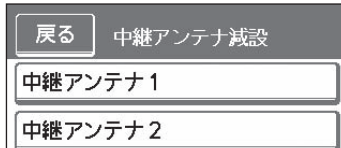
- 電波レベル/登録ランプが緑点滅する
- 登録が完了すると、ランプが点灯に変わる

8 終わったら、

ドアホン親機の 終 了 を押す

子機・中継アンテナを使わなくなったとき（減設）

ドアホン親機から、それぞれの登録を解除してください。

1 画面をタッチし、トップメニューの

設定 **をタッチする**

2 登録/減設 **をタッチする**

3 減設 **をタッチする**

4 **減設する機器の種類をタッチする**

5 **減設する機器をタッチする**

（例：子機の場合）

（例：中継アンテナの場合）

6 メッセージを確認して

はい **をタッチする**

7 終わったら、 終 了 **を押す**

子機をドアホン/電話両用で使っていたとき

- **電話の子機としての利用もやめるときは、電話/ファクス親機からも減設してください。**
  - 減設のしかたは、お使いの電話/ファクス親機の取扱説明書をお読みください。
- **ドアホン親機、または電話/ファクス親機のどちらか一方から減設して、電話専用またはドアホン専用子機として使うときは、必ず子機の「動作モード」の設定を変更してください。**

  （例）ドアホン親機から減設して、電話専用で使うとき

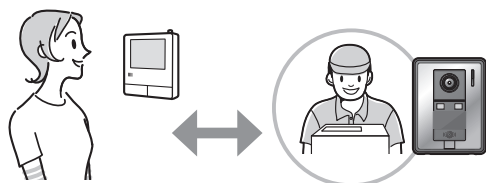
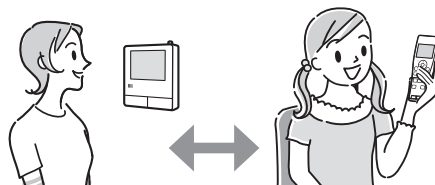
  ➔ 子機の「動作モード」を「電話」に変更（☞ 75ページ）

「動作モード」を変更しないと、正しく動作しなかったり、電波表示が「圏外」となって使えないことがあります。

お願い

- 誤動作防止のため、減設後は下記のことを行ってください。
  - 子機の場合 ➔ 電池パックを外す
  - 中継アンテナの場合 ➔ ACアダプターを抜く

通話中・モニター中に 別の呼び出しがあったとき (ドアホン親機)

別のドアホンからの呼び出しは、通話中・モニター中に呼出音や画面表示などで通知されます。
下記の操作で確認してください。

別のドアホンから呼び出しがあったとき

1 「ピーンポーン」など
ドアホンの呼出音(☞ 62ページ)が鳴り、[モニター] のランプが点滅する

● 画面には呼び出してきたドアホンを表示

例) ドアホン通話中の場合

2 呼び出してきたドアホンの映像を見るには
[モニター] または [ドアホン2 着信中] をタッチする

● 元の通話やモニターが終了し、映像が切り替わる

映像とともに周囲の音が聞こえますが、こちらの声はドアホン側には聞こえません。

● ドアホン側の相手と話すには
[通 話] **を押す**

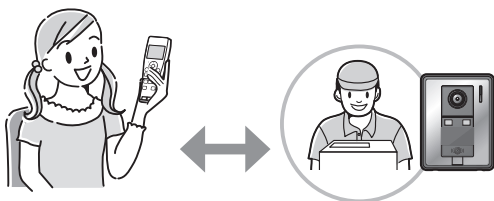
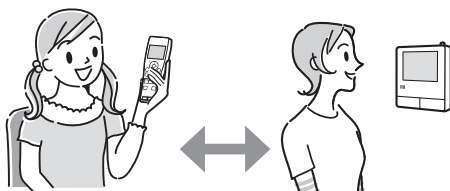
3 終わったら、
[終 了] **を押す**

必要なとき

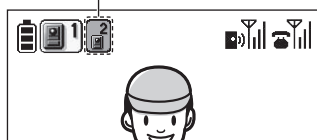
通話中・モニター中に 別の呼び出しがあったとき 子機

子機でも別の呼び出しに応答できます。下記の操作で確認してください。

● 子機を電話の子機としても利用しているときは、ドアホン通話中に電話を受けたり、電話中にドアホンからの呼び出しを受けたりすることもできます。

ドアホン通話（モニター）中や室内通話中の場合

別のドアホンから呼び出しがあったとき

1 「ピーンポーン」など
ドアホンの呼出音（☞ 62ページ）が鳴り、[モニター] が点滅する

● 画面には呼び出してきたドアホンのマークを表示

例）ドアホン通話中の場合

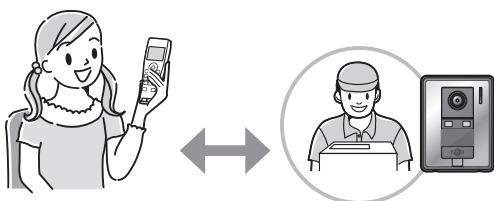
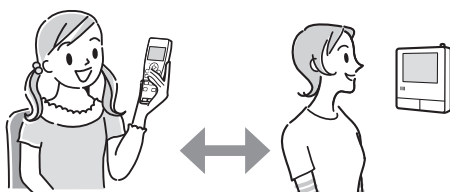
2 呼び出してきたドアホンの映像を見るには
 [モニター] を押す

● 元の通話やモニターが終了し、映像が切り替わる

映像とともに周囲の音が聞こえますが、こちらの声はドアホン側には聞こえません。

● ドアホン側の相手と話すには
 [通話] を押す

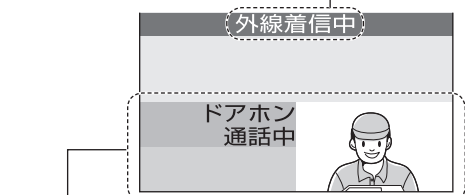
3 終わったら、
[終了] を押す

ドアホン通話(モニター)中に…

室内通話中に…

外から電話がかかってきたとき

1 「プルルルルルルル」と

電話の呼出音(「ベル1」固定)が鳴り、(外線ボタン) が点滅する

● 画面でも外線着信をお知らせ

例) ドアホン通話中の場合

通話中のドアホン映像は縮小表示になる

2 電話に出るには

(外線ボタン) を押す

● 元の通話やモニターは終了し、外線通話に切り替わる

3 終わったら、

(終了) を押す

電話/ファクス親機や別の子機から内線呼び出し(電話内線)があったとき

1 「プルルプルル」などと

電話の内線呼出音(固定)※が鳴る

2 呼び出しに応答するには

(終了) を押し、通話やモニターを終了する

● 電話内線の着信画面に切り替わる

3 **(通話) を押す**

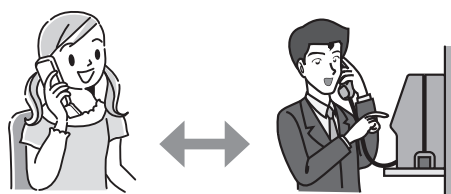
4 終わったら、

(終了) を押す

※ご使用の電話/ファクス親機で「内線呼出」を「音声」にしている場合も、手順1では内線呼出音(固定)が鳴ります。

別の呼び出しがあったとき 子機 (つづき)

外線通話中や内線通話中の場合

外線通話中に…

内線通話中に…

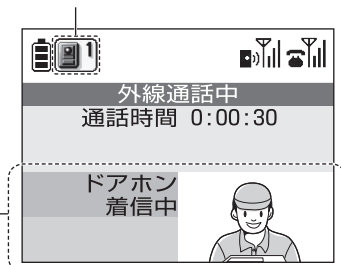
ドアホンから呼び出しがあったとき

●外線通話中は、通話を保留して応答できます

1 「ピーンポーン」など
ドアホンの呼出音(☞ 62ページ)が鳴り、[通話] が点滅する

● 画面でもドアホン着信をお知らせ

例)
外線通話中
の場合

外線通話中
通話時間 0:00:30
ドアホン
着信中

着信中のドアホン映像を縮小表示する

2 ドアホン側の相手と通話するには
[通話] を押す

● 内線通話は終了し、外線通話は保留になる(が点滅)
● ドアホンの映像表示が大きくなり、相手と通話ができる

3 終わったら、**[終了] を押す**

● 外線を保留していたとき、外線通話に戻るには を押す

ドアホン親機や別の子機から室内呼び出し(ドアホン室内呼)があったとき

1 「プー」と
ドアホン室内呼の呼出音(固定)が鳴る

2 呼び出しに応答するには
[終了] を押し、通話を終了する

● ドアホン室内呼の着信画面に切り替わる

3 **[通話] を押す**

4 終わったら、**[終了] を押す**

(内線通話中の場合のみ) 外から電話がかかってきたとき

1 「プルルルルルルル」と
電話の呼出音(「ベル1」固定)が鳴り、 が点滅する

2 電話に出るには **を押す**

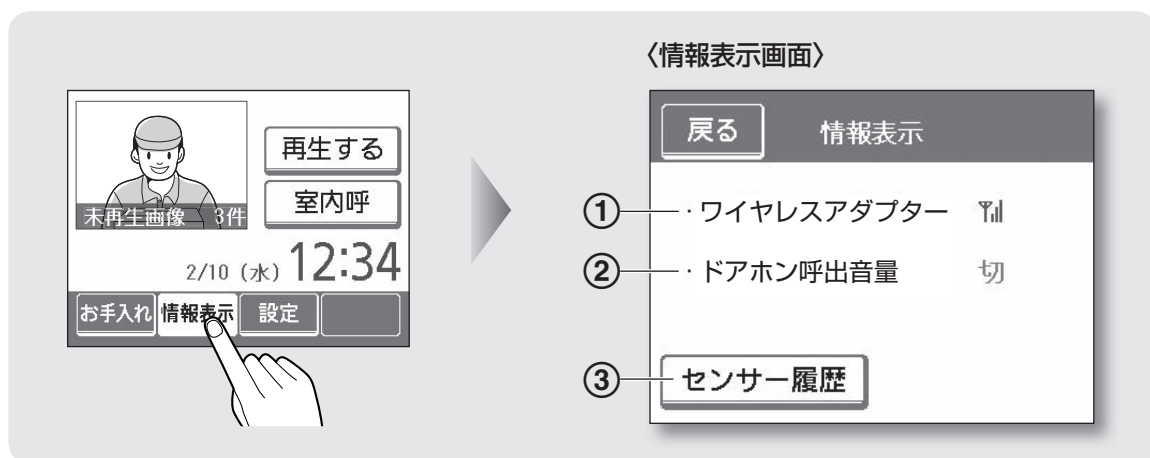
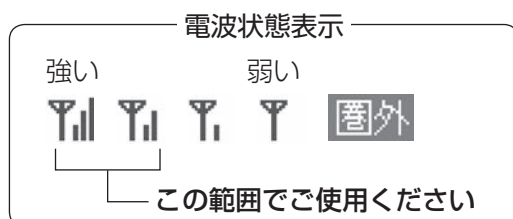
● 元の内線通話は終了し、外線通話に切り替わる

3 終わったら、**[終了] を押す**

情報表示画面について

情報表示画面には、本機や本機に接続(登録)した機器などに関する情報が表示されます。

● 情報表示画面は、トップメニューで 情報表示 をタッチすると表示されます。

● 状態に応じて表示内容が変化するので、ときどき表示を確認してください。

① ワイヤレスアダプター機能(☞ 83ページ)で接続した電話/ファクス親機からの電波状態を表示する

● 「圏外」のときは、**電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません**
このときトップメニューには下記のメッセージが表示されます

(詳しくは☞ 108ページ)

② ドアホン親機で、ドアホンの呼出音量が「切」になっているときに表示する

③ 火災警報器、外部センサー、地震警報器のいずれかを接続してご使用の場合に表示する

● タッチすると下記のような画面が表示され、センサー反応の通知履歴を確認できます

(最新情報を6件まで記憶)

子機の文字入力のしかた

子機自身の名前（☞ 65ページ）や電話帳※（☞ 52ページ）を登録するときに使います。（子機のみ）
※電話の子機としても利用しているときのみ

こんなときは

■同じボタンの文字を続けて入力する（例：あい）

あ 1 ➔ ◎（カーソルを右へ）➔ い 1 1

■スペースを入れる

室内呼 を押す

■カーソルを移動する

◎ を押す

■途中で入力をやめる

終了 を押す

挿入・修正・消去するには

■挿入するには

挿入位置の次の文字にカーソルを移動し、文字を入力する

■修正するには

修正する文字にカーソルを移動し、キャッチ クリアー を押して消し、入力し直す

■消去するには

消去する文字にカーソルを移動し、キャッチ クリアー を押す

■すべて消去するには

文字の先頭にカーソルを移動し、キャッチ クリアー を約2秒間押す

■変換中に変換する文字の区切りを変えるには

1. キャッチ クリアー で変換中の漢字をひらがなに戻す

2. で変換する最後の文字にカーソルを移動し、 を押す

名前を入力
_
ただのりこ

「ただ」の部分だけが変換される

● **希望の漢字に変換できないとき**
読みかた（音読み・訓読みなど）を変えて入力し、 を押す

お知らせ

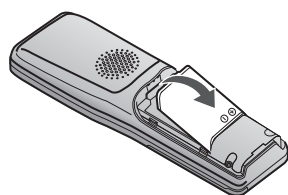
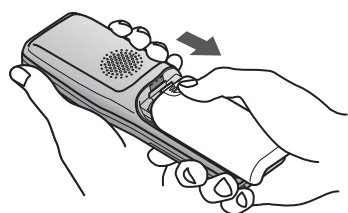
● 複雑な漢字は、一部変形または省略して表示されます。
● 希望の漢字に変換できないこともあります。

文字列一覧表

ボタン ＼ 表示	かな	カナ	英	数
1	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ァィゥェォ	@ . _ -（ハイフン） & $ ￥ % + = ~ ^	1
2	かきくけこ	カキクケコ	A B C a b c	2
3	さしすせそ	サシスセソ	D E F d e f	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	G H I g h i	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	J K L j k l	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	M N O m n o	6
7	まみむめも	マミムメモ	P Q R S p q r s	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	T U V t u v	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	W X Y Z w x y z	9
0	わをんー（長音）！？（）	ワヲンー（長音）！？（）	！ ？ / ー ＊ # ， ； ： ｜ ・ ’ ” () [] {} <> 「」	0
＊	゛（濁点） ゜（半濁点） 、 。		、 。	
室内呼	スペース			

● 最大入力文字数には、スペースも 1 文字分として含みます。
● 一覧表の文字とディスプレイに表示される文字の形は、異なることがあります。

子機の電池パックを交換する

電池パックは消耗品です。
8時間充電しても通話数分後に電池残量表示（▯）が赤で表示されたら、新しい電池パックと交換してください。

1 電池カバーを開ける

2 古い電池パックを外す

3 新しい電池パックを入れて 8時間充電する（☞ 21ページ）

● 新しい電池パックを入れたときの電池残量表示は、▯ になります

お願い

● 別売品「KX-FAN51」をお使いください。（☞ 100ページ）
➔仕様：ニッケル水素電池、DC 3.6 V、650 mAh

古い電池パックはリサイクルに…

Ni-MH

● この製品には、ニッケル水素電池を使用しています。
● ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
● 交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火のおそれがありますので、端子を絶縁するためにテープをはるかポリ袋に入れてリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。
● リサイクル協力店のお問い合わせは、下記へお願いします。
- 製品、ニッケル水素電池パックをご購入いただいた販売店
- （社）電池工業会小形二次電池再資源化推進センターおよび充電式電池リサイクル協力店くらぶ事務局

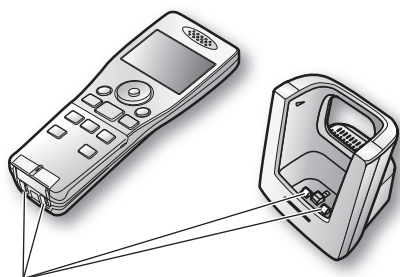
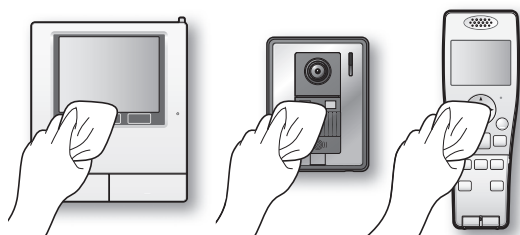
（社）電池工業会ホームページ　http://www.baj.or.jp/

● **リサイクル時のお願い**
- 電池パックはショートしないようにしてください。 火災・感電の原因になります。
- 外装カバー（被覆・チューブなど）をはがさないでください。
- 電池パックを分解しないでください。

必要なとき お手入れ

お手入れするときは、ドアホン親機の電源プラグや子機のACアダプターをコンセントから抜いてください。

柔らかい布で、からぶきする

● 汚れがひどいときは、柔らかい布に水を含ませ、固く絞ってふいてください。

充電端子は月に一度、乾いた布でふく

（充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります）

■ ドアホン親機のタッチパネルをふくとき

● トップメニューの お手入れ をタッチすると（右記を約90秒間表示）、電源プラグをコンセントから抜かずに画面のお手入れができます。（終わったら、 終 了 を押す）

● タッチパネルの表面の汚れなどをふき取る場合は、乾いた柔らかい布を使い、爪を立てずに指の腹で軽くふいてください。

お願い

● お手入れに、アルコール類・みがき粉・粉せっけん・ベンジン・シンナー・ワックス・石油・熱湯などは使用しないでください。また、殺虫剤・ガラスクリーナー・ヘアスプレーなどをかけないでください。
（変色、変質の原因になります）

仕様

ドアホン親機

電　源	AC 100 V (50 Hz／60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約1 W 動作時　　：約10 W
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)	190 ×165 × 21 (突起部除く)
質　量	約580 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	5.2型IPS-TFT カラー液晶ディスプレイ
通話方式	ハンズフリー方式
取付方法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
A接点出力※1	定格負荷： AC、DC 24 V／0.3 A以下 最小適用負荷： DC 5 V／1 mA
センサー入力	入力方式：無電圧メイク接点 検出確定時間：0.1秒以上 接点抵抗値： • メイク時　：500 Ω以下 • ブレイク時：15 kΩ以上 端子間短絡電流：5 mA以下 端子間開放電圧：DC 7 V以下

ドアホン

電　源		ドアホン親機より供給
外形寸法 (mm) (高さ×幅×奥行)		131 × 99 × 25 (突起部除く)
質　量		約170 g
使用環境条件		周囲温度：-10 ℃～+50 ℃ 湿度　　：90 % 以下
画　角	ワイド	左右 約170°、上下 約130°
	ズーム	左右 約100°、上下 約80°
取付方法		露出型： JIS1 個用スイッチボックス (カバー付き)適合
外観材質		難燃樹脂
最低被写体照度		1ルクス (カメラから約50 cm以内)
照明方法		LEDライト(照明用ランプ)
防水性		IPX3※2 (旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」)

※1 ドアホンからの呼び出し時、火災警報器・外部センサー・地震警報器の反応時に出力

※2 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

子　機

■本 体

電　源	専用ニッケル水素電池 （品番：KX-FAN51） （DC 3.6 V）（650 mAh）
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）	183 × 63 × 32 （突起部除く）
質　量	約210 g（電池パック含む）
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下
画面表示	2.5型TFT カラー液晶ディスプレイ
無線通信方式	2.4 GHz 周波数ホッピング方式
使用時間※3	連続使用時間： • ドアホン通話 （スピーカーホン）：約2.5時間 • 外線通話※4 （受話口での通話）：約5時間 （スピーカーホン）：約5時間 待ち受け時間：約200時間
充電時間	8時間
使用可能距離	約100 m/親機との見通し距離

■充 電 台

電　源	ACアダプター （品番：PQLV219JP） AC100 V（50 Hz/60 Hz） （DC 6.5 V）（500 mA）
消費電力	待ち受け時：約1 mW （子機を充電台から外しているとき） 充電時　　：約1.3 W
外形寸法（mm） （高さ×幅×奥行）	101 × 80 × 77 （突起部除く）
質　量	約93 g
使用環境条件	周囲温度：0 ℃～+40 ℃ 湿度　　：90 %以下

※3 充電完了の状態で、使用環境温度が20 ℃のとき
※4 電話/ファクス親機に増設時のみ

別売品・推奨品一覧

品番および価格は2010年2月現在のものです。内容は追加・変更になる場合があります。
(本機に接続できる電話/ファクスは82ページに記載しています)

■別売品(ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください)

製品名		品番	希望小売価格(税込)
カメラ玄関子機	露出型(広角撮影タイプ)	VL-V570L-S※1	29,400 円
	露出型	VL-V521L-S	28,350 円
		VL-V564-K、VL-V565-K	25,200 円
	埋込型	VL-V552-S	44,940 円
音声玄関子機	露出型	VL-V500-K	10,290 円
ワイヤレスモニター子機(ドアホン/電話両用)		VL-W607※2	29,400 円
ワイヤレス子機(音声タイプ、ドアホン専用)		VL-W610	12,600 円
ワイヤレスモニター子機用電池パック		KX-FAN51※3	2,310 円
中継アンテナ		KX-FAN1	12,600 円
JEM-Aアダプタ パナソニック電工(株) 配管機材(事)扱い		CZ-TA2	4,463 円
電気錠操作器 パナソニック電工(株) HA・セキュリティ(事)扱い		WQN4503W	52,500 円

※1 付属のドアホン(カメラ玄関子機)と同じ仕様です。その他のドアホンは、仕様や機能が異なります。
※2 付属の子機と同じ仕様です。その他の子機は、仕様や機能が異なります。
※3 付属の子機用の電池パックです。(お買い上げの販売店にてお取り寄せとなります)

■推奨品

製品名		品番	
光るチャイム	パナソニック電工(株)製	EC170 (P)	
メロディサイン	パナソニック電工(株)製	乾電池式	EC5227W (P)、EC5117WKP、EC5347※4
		AC100 V式	EC710K、EC721K、EC730W※4
回転灯	(株)パトライト製	KJS-110、KJSB-110、KES-110	
単独型 住宅用火災警報器(移報接点付き)	パナソニック電工(株)製	ねつ当番	SH28113、SH28153K、SH38153
		けむり当番	SH28413、SH28453K、SH38453
	能美防災(株)製	熱検知式	FSLJ007-Sシリーズ
		煙検知式	FSKJ217-Sシリーズ
移報接点アダプタ※5	パナソニック電工(株)製	SH2890	
MAMORIE ワイヤレスセキュリティ受信器※6	パナソニック電工(株)製	ECD6101K	
緊急地震速報受信装置 デジタルなまず	(株)3Softジャパン製	SH200-J	

※4 EC5347、EC730Wはオートストップ機能付きです。
(オートストップ機能がない場合、30秒間チャイムが鳴動します)
※5 連動型の住宅用火災警報器を本機に接続するためのアダプタです。
接続できる火災警報器については、アダプタの説明書をご覧ください。
※6 ワイヤレスで、センサーとの配線が不要なセキュリティシステムです。
接続できるセンサー類は、ワイヤレスセキュリティ受信器の説明書をご覧ください。

困ったとき

	こんなとき(症状など)	原因と対応	ページ
画面表示(ドアホン映像)	映像がゆがんで見える	●カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。	–
	背景が緑っぽく映る	●夜間などドアホンの周囲が暗くなってくると、外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがありますが、故障ではありません。	–
	夜間の映像が暗く顔が識別できない	●「ドアホン照明自動点灯」の設定が「しない」になっていませんか? ➔ 設定を「する」にしてください。	71
		●ドアホンの照明(LEDライト)点灯時でも、撮影範囲の両端付近(ドアホンの真横など)はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。 ➔ 補助灯などの設置をお勧めします。	–
	人の顔が暗く映る	●ドアホンを逆光になる位置に設置していると、来客の顔が暗く映り、識別しにくくなります。 ➔ 映像表示中に、逆光補正をしてください。	27 31
	映像がはっきりしない ・焦点が合わない	●ドアホンのレンズカバーが汚れていませんか? ➔ 柔らかい乾いた布でふいてください。	97
		●ドアホンのレンズカバーが結露していませんか? ➔ 周囲の温度が常温に戻れば回復します。	–
	映像全体が白っぽい、または黒っぽい	●明るさの設定は適切ですか? ➔ 映像表示中に、明るさを調節してください。	27 31
	映像が白っぽい、または白い線や輪が表示される	●ドアホンのカメラレンズに太陽光などの強い光が当たると、見えにくくなる場合があります。(故障ではありません) ➔ 直接、太陽光が当たらない位置に設置してください。また、ドアホン全体の向きを変えることにより症状が軽減される場合があります。	–
	画面全体がちらつく	●ドアホンの近くに、蛍光灯など交流電灯の照明がありませんか? ➔ 周囲が暗くなってくると、照明によって画面がちらつくこと(フリッカー現象)があります。(故障ではありません)	–

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
画面表示（ドアホン映像／その他）	子機でドアホンの映像が乱れる、または映像の更新が遅い（約5秒以上かかる）	●子機背面のアンテナ部（内蔵）を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。 アンテナ部 ●子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。 移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。 ●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機をドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	－ 11 86 12
	録画した画像の画質が粗い	●8枚録画の場合、1枚録画に比べて画質が粗くなります。 ➔ 画質を優先したいときは、ドアホン親機で、「ドアホン録画数」の設定を「1枚」にしてください。	69
	録画再生で、録画日時が表示されない	●日付・時刻が設定されていません。 ➔ ドアホン親機で、日付・時刻を設定してください。	25
	録画再生で、人が小さく映り顔が識別しにくい	●録画時の画面表示がワイドの場合、人が小さく映ります。 **（録画再生時にズームにすることはできません）** ➔ 「着信画面設定」を「ズーム」にすると、着信時の自動録画で、ズーム画像が録画されます。 ➔ 手動録画の場合は、表示をズームに切り替えたあと録画してください。 **ただし、ズーム画像の画質はワイドに比べて粗くなります。**	66 29 31
	夜間に録画されたドアホン画像が暗い	●夜間などは、ドアホンの画像表示に時間がかかるため、画像が表示される前に自動録画してしまうことがあります。 ➔ ドアホン親機で、「録画開始時間」の設定を「遅い」にしてください。	69
	青画面（画像なし）が録画されている	●音声専用のドアホンを接続していませんか？ ➔ 自動録画機能により、呼び出し時に表示される青画面が録画されます。 「ドアホン自動録画」の設定で、音声専用ドアホンの自動録画を「しない」にすることをお勧めします。	70
ドアホン通話	ドアホンの映像が映っているのに、ドアホン親機で通話や録画などの操作ができない	●電話/ファクスで、すでにドアホン通話やモニターをしていませんか？ ➔ 電話/ファクスでドアホン通話やモニターをしているときは、ドアホン親機にも最大3分間映像が映りますが、通話や録画などの操作はできません。	－

こんなとき(症状など)		原 因 と 対 応	ページ
ドアホン通話/室内通話	通話が途切れる または、 ほとんど聞こえない	●自分の周り、または通話相手の周りで、車や電車などが通る音、ペットの鳴き声、テレビの音、子供の泣き声など、大きい音がしていませんか？ ➔ 周りの音が大きいと、通話が途切れることがあります。プレストーク通話に切り替えると、話しやすくなります。	27 31
		●子機との通話の場合 • 子機背面のアンテナ部(内蔵)を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。 アンテナ部	–
		• 子機が、ドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。 移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。	11 86
		• 近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機をドアホン親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	12
	雑音(ハウリング)が 聞こえて通話できない	●通話中の相手との距離が近すぎると、雑音(ハウリング)が聞こえます。 ➔ 少し離れた場所で通話してください。	–
	相手に、こちらの声が まったく聞こえない (こちらには相手の 音声が聞こえる)	●プレストーク通話になっていませんか？ (ドアホン親機は 、子機は を表示) ➔ プレストーク通話では、ドアホン親機は［通 話］、子機は［通話］を押している間だけ、相手にこちらの声が聞こえます。	27 31
	音声応答が うまくいかない	●応答の声が小さかったり、「はーい」などの声を長く(約1秒以上)伸ばしすぎると、うまく応答できません。 ➔「ピッ」と鳴るまで、声の大きさや長さを変えて応答してみてください。	26
ドアホンモニター	指定したモニター先に つながらず、 「着信中の○○○を 表示します」と出て、 別のドアホンの映像が 表示される	●「鳴り分け」の設定(☞ 64ページ)で、「鳴らない」に設定したドアホンから着信中のため、着信中の映像が表示されます。 ➔ モニター先を切り替えるには、ドアホン親機は［モニター］をタッチ、子機は［モニター］を押してください。	34 35

困ったとき（つづき）

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
呼出音	ドアホンからの呼出音が鳴らない	●呼出音量が「切」になっていませんか？ ➔ 呼出音量「切」を解除してください。 ●子機の電池が切れていませんか？ ➔ 充電してください。	60 61 21
子機（電話）	電話の呼出音が鳴らず、電話をかけることもできない （子機を電話/ファクス親機に近づけても電波表示が「圏外」になる）	●電話/ファクス親機がドアホン親機から離れすぎていませんか？ ➔ ドアホン親機に近づけて設置し直してください。 ●電話/ファクス親機とドアホン親機の間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ 電話/ファクス親機は、ドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物のない場所に設置し直してください。	11 11
	相手の声が途切れる または、雑音が入る 「ピピッピピッ」音が聞こえ、通話が切れる	●子機背面のアンテナ部（内蔵）を手でおおっていませんか？ ➔ アンテナ部から手を離してください。 ●子機が電話/ファクス親機から離れすぎている、または電話/ファクス親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ 電話/ファクス親機の近く、または障害物のない場所に移動してください。 移動できないときは、別売の中継アンテナを設置すると改善できることがあります。 ●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ 子機を電話/ファクス親機に近づけてください。 または、これらの機器から離してご使用ください。	17 11 86 12
子機（充電）	が赤で表示され、「ピッピッ」と鳴る	●電池がなくなりかけています。 ➔ すぐに充電してください。	21
	充電台に置いても充電ランプが点灯しない	●ACアダプターがコンセントまたは充電台から外れていませんか？ ➔ ACアダプターをコンセントまたは充電台にしっかり差し込んでください。 ●充電台に正しく置いていますか？ ➔ 正しく置いてください。 （「ピッ」と鳴り、充電ランプが赤点灯する） ●充電端子が汚れていませんか？ ➔ 乾いた布でふいてください。 ●電池パックが新品、または電池が切れていませんか？ ➔ 数分間、充電台に置いたままにしてください。	21 21 97 21
	8 時間充電しても、充電ランプが消灯しない	●ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源が入っていないときや、子機に「圏外」や「圏外」と表示されているときは、充電時間が長くなります。 ➔ ドアホン親機や電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、子機の電波表示が「」になるまでドアホン親機や電話/ファクス親機に近づけて充電してください。	21

	こんなとき（症状など）	原因と対応	ページ
子機（充電）	充電しても2、3回使うと▯が赤で表示される	●電池パックの寿命です。 ➔ 交換してください。	96
	子機、ACアダプター、充電台が温かい	●異常ではありません。 （夏は冬に比べて少し熱く感じることがあります） ➔ 非常に熱いときは、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。	－
電話／ファクスでのドアホン通話	ワイヤレスアダプター機能で接続した電話／ファクスで • ドアホンの呼出音が鳴らない • ドアホン通話が途切れる	●ワイヤレスアダプターの設定（増設）は完了していますか？ ➔ 設定を完了してください。 ●ドアホン親機と電話/ファクス親機の間が離れすぎている、または間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機で電波状態を確認し、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。 別売の中継アンテナで、親機同士の電波の中継はできません。 ●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ これらの機器から離してご使用ください。 ●上記の操作を行っても改善されないときは、ドアホン親機の底面にあるリセットスイッチを先端の細いもので押してください。（ドアホン親機に録画した画像、登録した設定内容などは消えません）	83 82 93 12 14
火災警報器／外部センサー／地震警報器の接続	接続したセンサー機器が反応しているのに、ドアホン親機や子機に通知されない • 通知音が鳴らない • 通知画面が出ない	●配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	－
	外部センサー（MAMORIE）が反応しているのに、ドアホン親機や子機の通知音が鳴らない、または鳴るのが遅い	●ドアホン親機や子機の通知音は、MAMORIEの設定によって、鳴り出すタイミングが異なります。 ➔ 詳しくはMAMORIEの説明書をお読みください。	－
	地震警報器（デジタルなまず）が反応しているのに、ドアホン親機や子機では、通知音や通知画面がすぐに（約5秒間で）終了してしまう	●デジタルなまず（SH200-J）の外部接続端子は2ポートあり、接続するポートによってドアホン親機と子機への通知時間が変わります。 ➔ 詳しくはデジタルなまずの説明書をお読みください。	－

困ったとき（つづき）

こんなとき（症状など）		原因と対応	ページ
その他	• 画面に「展示モード」と表示されている • 呼出音が定期的に鳴る • 通話ができない	● ドアホン親機の機能設定で「展示モード」が設定されています。 ➔ 機能設定の「その他の設定」の中にある「展示モード」の設定を「しない」にしてください。	72
	停電のとき使えますか？	● 使えません。ドアホン親機は、日付・時刻が初期値に戻ることがあります。 ➔ 戻ったときは、ドアホン親機の日付・時刻を設定してください。	25
	正しく操作しても動かない 動作がおかしい	● 直らないときは、下記の操作を行ってください。（リセット） 〈ドアホン親機〉底面にあるリセットスイッチを先端の細いもので押してください。（録画した画像、登録した設定内容などは消えません） 〈子機〉電池パックを入れ直してください。 • 登録した設定内容などは消えません。 • 電池残量表示が［電池アイコン］になりますが、残量は変わりません。	14 –
	ドアホン親機が動作しない • 映像が映らない • 呼出音が鳴らない • 音声が出ない	● 電源プラグがコンセントから外れている、または外れかけていませんか？ ➔ 電源プラグを一度外してから、しっかりとコンセントに差し込んでください。それでも直らないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。 ● 電源直結工事をして、ご使用のとき ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	– –

こんなとき(症状など)		原因と対応	ページ
その他	ドアホン親機で タッチパネル上の ボタンにタッチしても • 反応しない • 別のボタンが反応する	● **反応しない場合** • タッチパネルが汚れていませんか? ➔タッチパネルのお手入れを行ってください。 • お手入れをしても改善しない場合は、タッチパネルの調整が必要です。(調整のしかた☞ 下記) ● **別のボタンが反応する場合** • タッチパネルの調整が必要です。 (調整のしかた☞ 下記) **〈タッチパネルの調整のしかた〉** ➔ ① ドアホン親機の [終 了] を押しながら [通 話] を3回押す タッチパネル調整 左上の「+」をタッチしてください ② 画面の指示に従って+マークを指でタッチする(5か所) ③ [決定] をタッチする 調整結果を保存しますか 決定 中止	97 ー ー
	下記のあと、通信にノイズが入るようになった • ドアホン/電話両用で使っていた子機をドアホン親機または電話/ファクス親機のどちらかで減設した • ワイヤレスアダプターの設定を解除(減設)した	● ドアホン親機と電話/ファクス親機の距離が近すぎませんか? ➔ どちらも電波を使う機器のため、子機経由またはワイヤレスアダプター機能で接続した親機同士の接続を解除すると、お互いの電波が干渉することがあります。親機同士を3 m以上離してください。	ー

こんな表示が出たら

	表示	原因と対応	ページ
ドアホン親機（トップメニュー画面）	**中継アンテナ重複** 再生する 室内呼 未再生画像　3件 ◇中継アンテナ重複　詳しく タッチすると詳細を表示 ◇中継アンテナ①の登録が電話とドアホンで重複しています ※ 中継アンテナを減設する ※番号は、「1」「2」「1，2」のいずれかを表示	●中継アンテナの登録で次のことが考えられます。 • ドアホン親機と電話/ファクス親機に別々に登録している2台の中継アンテナが、同じ番号になっている ➔ 同じ番号では使えません。ドアホン親機からいったん中継アンテナを減設し（☞ 下記）、別の番号で登録し直してください。 • ドアホン親機と電話/ファクス親機に、合計3台以上の中継アンテナが登録されている ➔ 合計で2台までしか使えません。2台以下になるよう、ドアホン親機または電話/ファクス親機から減設してください。（ドアホン親機からの減設は☞ 下記） **〈ドアホン親機からの減設のしかた〉** ①左の画面で［中継アンテナを減設する］をタッチする （中継アンテナの減設画面になります） ②88ページの手順5、6の操作で減設する	－ －
	時計未設定 ◇時計未設定　詳しく タッチすると詳細を表示 ◇時計を設定してください 日時を設定する	●日付・時刻が設定されていません。 ➔ 下記の操作で設定してください。 ①左の画面で［日時を設定する］をタッチする （日時設定画面になります） ②25ページの手順4、5の操作で設定する	－
	ワイヤレスアダプター圏外 ◇ﾜｲﾔﾚｽｱﾀﾞﾌﾟﾀｰ圏外　詳しく タッチすると詳細を表示 ◇ワイヤレスアダプターが圏外です 電話/ファクスを探す	●電話/ファクス親機から電波が届いていないため、電話/ファクス親機でのドアホン通話や子機の電話機能が使えません。 ➔ 電話/ファクス親機の電源が入っていることを確認し、左の画面で［電話/ファクスを探す］をタッチしてください。 （電話/ファクス親機の電波を探します） ➔ 上記の操作を行っても「圏外」になるときは、電話/ファクス親機の設置場所に問題がある場合があります。 82ページを参照のうえ、電波の強い場所に電話/ファクス親機を設置し直してください。	－ －

	表示	原因と対応	ページ
ドアホン親機	使用中	●子機が使用中です。 ➔ 子機での使用が終わってから、やり直してください。	ー
	登録できません	●子機/中継アンテナを登録時、またはワイヤレスアダプター機能で電話/ファクスを登録時、指定時間内に登録操作が完了しなかったため、登録に失敗しました。 ➔ 登録する機器の電源や接続を確認して、もう一度最初からやり直してください。	83 85 87
	ほかの着信により 8枚録画を中断しました これ以上録画されていません	●8枚録画の途中で次のことがあると、録画が中断されます。（最低1枚は録画されます） • ほかのドアホンからの着信 • 火災警報器などからのセンサー反応通知	ー
	■通話やモニターなどの操作終了時に下記の表示が出る 火災警報器が反応しました 外部センサーが反応しました 地震速報を受信しました	●火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応していませんか？ ➔ 本機への通知がいったん終了したあとも接続したセンサー機器で反応が続いていると、「通話」「モニター」などの操作終了時に、左記の表示が約3秒間表示されます。 ●火災警報器、外部センサー、地震警報器が反応していない場合は、配線に異常がある可能性があります。 ➔ お買い上げの販売店にご相談ください。	ー ー
ドアホン親機／子機共通	保護画像です 保護を解除してください	●保護画像のため、そのままでは消去できません。 ➔ 保護を解除してから、消去してください。	42 43
	保護画像がいっぱいです これ以上保護できません	●保護画像がいっぱい(20件)になっています。 ➔ 別の画像の保護を解除してから、保護設定してください。 ※ 保護を解除した画像は、新しい画像によって順次、消去されます。	42 43

こんな表示が出たら（つづき）

	表　示	原因と対応	ページ
子機	画像中断がありました	●8枚録画の途中で次のことがあると、録画が中断されます。（最低1枚は録画されます） • ほかのドアホンからの着信 • 火災警報器などからのセンサー反応通知	–
子機	ドアホン親機に接続できません	●子機がドアホン親機から離れすぎている、またはドアホン親機との間にコンクリート壁などの障害物がありませんか？ ➔ ドアホン親機の近く、または障害物のない場所に子機を移動させてください。 ●近くで電子レンジや無線LAN機器などを使っていませんか？ ➔ これらの機器から離してご使用ください。	11 12
子機	登録失敗	●親機への登録が完了していません。 登録する親機に子機を近づけ、登録操作をやり直してください。 • ドアホン親機に登録するとき（☞ 85ページ） • 電話/ファクス親機に登録するとき（☞ 24ページ）	–
子機（電話/ファクス親機に増設時）	転送できません	●子機が電話/ファクス親機から離れすぎていませんか？ ➔ 電話/ファクス親機に近づけてください。 ●転送先（電話/ファクス親機）の電話帳に空きがありますか？ ➔ 電話/ファクス親機で不要な電話番号を消去してください。（☞ 電話/ファクス親機の取扱説明書）	– –
子機（電話/ファクス親機に増設時）	電話親機に接続できません	●子機が電話/ファクス親機から離れすぎていませんか？ ➔ 電話/ファクス親機に近づけてください。 ●電話/ファクス親機の電源が入っていますか？または、停電中ではありませんか？ ➔ ACアダプター（または電源コード）をつないでください。（停電中は使えません）	– –
子機（電話/ファクス親機に増設時）	電話帳がいっぱいです	●電話帳に空きがありません。 ➔ 子機で不要な電話番号を消去してください。	53

	表示	原因と対応	ページ
子機（電話／ファクス親機に増設時）	ドアホン親機が 電話親機の圏外です 電話親機の電源と場所を 確認して[再開]を押す	●電話/ファクス親機の電源が入っていますか？ ➔ ACアダプター（または電源コード）をつないで、子機の 決定（再開）を押してください。 ●電話/ファクス親機がドアホン親機から離れすぎていませんか？ ➔ 電話/ファクス親機をドアホン親機に近づけて、子機の 決定（再開）を押してください。	― ―
	ドアホン機能のみ 使えます 動作モードを変更する または、電話親機登録を 変更してください	●子機（VL-W607）を登録している電話/ファクス親機とは別の電話/ファクス親機を、ワイヤレスアダプター機能でドアホン親機と接続していませんか？ ➔ 上記の場合、子機はドアホン/電話両用で使えません。（ドアホン機能のみ使えます） ➔ 両用で使うには、ワイヤレスアダプター機能での接続をやめるか（☞ 84ページ）、子機を登録している電話/ファクス親機から子機登録を解除（減設）し、ワイヤレスアダプター機能で接続している別の電話/ファクス親機に子機を登録し直してください。（☞ 24ページ） ●複数の子機（VL-W607）を、2台以上の電話/ファクス親機に登録していませんか？ ➔ ドアホン/電話両用で使うすべての子機を、同じ電話/ファクス親機に登録しないと、ドアホン/電話両用で使えません。 ●電話/ファクスの買い替えなどで子機を新しい電話/ファクス親機に登録し直すときは、すべての子機の登録が完了するまで、この表示が出ることがあります。 ➔ 電話/ファクス親機を変更するときは、今までご使用の親機からすべての子機を減設し、そのすべてを新しい親機に登録し直してください。	― ― ― ―
	動作モードを 変更してください	●子機の「動作モード」の設定が、「ドアホン」または「電話」になっていませんか？ ➔ ドアホンと電話両方の機能を使うには、子機で、設定を「ドアホン/電話」に変えてください。	75

保証とアフターサービス　よくお読みください

ご相談の前に

① 101～111ページの「困ったとき」「こんな表示が出たら」をご確認ください。
② ホームページの「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などもご活用ください。
http://panasonic.co.jp/pcc/contact/inquiry/la_index.html

修理・使いかた・お手入れなどは…

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電　話　（　　　）　－

お買い上げ日　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは…

上記①でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグとACアダプターを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

製品名	ワイヤレスモニター付テレビドアホン	テレビドアホン
品　番	VL-SW500KL	VL-SV500KL
故障の状況	できるだけ具体的に	

● **保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。**

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

ただし、VL-SW500KLに付属の電池パックは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます。

● **保証期間終了後は、診断をして修理できる場合は、ご要望により修理させていただきます。**

※修理料金は、次の内容で構成されています。

- 技術料　診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代　部品および補助材料代
- 出張料　技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間　7年

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後7年保有しています。

■転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください。

● 修理に関するご相談は…

パナソニック 修理ご相談窓口

ナビダイヤル（全国共通番号）　**0570-087-087**

- 呼び出し音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS・IP/ひかり電話等、ナビダイヤルがご利用できない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

● 使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター　365日 受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787

Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

ご相談におけるお客様に関する情報のお取り扱いについて

- お客様の個人情報やご相談内容を、その対応や修理確認などのために利用し、残すことがあります。
- 個人情報やご相談の記録を適切に管理し、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
- ナンバー・ディスプレイを採用し、折り返し電話させていただくことがあります。（お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください）

お願い

● 停電などの外部要因により、録画、通話などにおいて発生した損害の補償については、当社はその責任を負えない場合もございますので、あらかじめご了承ください。

■各地域の修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

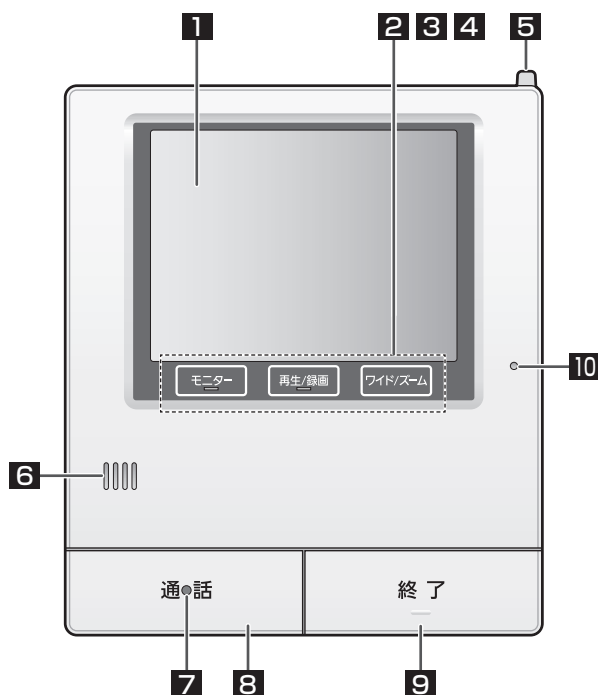
地区	窓口	電話番号	住所
北海道地区	札幌	☎ (011)894-1251	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7
	旭川	☎ (0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
	帯広	☎ (0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
	函館	☎ (0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）
東北地区	青森	☎ (017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
	秋田	☎ (018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
	岩手	☎ (019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
	宮城	☎ (022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
	山形	☎ (023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
	福島	☎ (024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
首都圏地区	栃木	☎ (028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
	群馬	☎ (027)254-2075	前橋市箱田町325-1
	茨城	☎ (029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
	埼玉	☎ (048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
	千葉	☎ (043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
	東京	☎ (03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17
	山梨	☎ (055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
	神奈川	☎ (045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
	新潟	☎ (025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14
中部地区	石川	☎ (076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
	富山	☎ (076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
	福井	☎ (0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
	長野	☎ (0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
	静岡	☎ (054)287-9000	静岡市葵区千代田7丁目7-5
	愛知	☎ (052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
	岐阜	☎ (058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
	高山	☎ (0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
	三重	☎ (059)254-5520	津市久居野村町字山神421
近畿地区	滋賀	☎ (077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
	京都	☎ (075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
	大阪	☎ (06)6359-6225	大阪市城東区関目2丁目15-5
	奈良	☎ (0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
	和歌山	☎ (073)475-2984	和歌山市中島499-1
	兵庫	☎ (078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4
中国地区	鳥取	☎ (0857)26-9695	鳥取市安長295-1
	米子	☎ (0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
	松江	☎ (0852)23-1128	松江市平成町182番地14
	出雲	☎ (0853)21-3133	出雲市渡橋町416
	浜田	☎ (0855)22-6629	浜田市下府町327-93
	岡山	☎ (086)242-6236	岡山市北区田中138-110
	広島	☎ (082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
	山口	☎ (083)973-2720	山口市小郡下郷220-1
四国地区	香川	☎ (087)868-6388	高松市勅使町152-2
	徳島	☎ (088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
	高知	☎ (088)834-3142	高知市仲田町2-16
	愛媛	☎ (089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1
九州地区	福岡	☎ (092)593-9036	春日市春日公園3丁目48
	佐賀	☎ (0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
	長崎	☎ (095)830-1658	長崎市東町1919-1
	大分	☎ (097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
	宮崎	☎ (0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
	熊本	☎ (096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
	天草	☎ (0969)22-3125	天草市港町18-11
	鹿児島	☎ (099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
	大島	☎ (0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2
沖縄地区	沖縄	☎ (098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。
最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0509

Quick Reference Guide
Main Monitor Station / Door Station

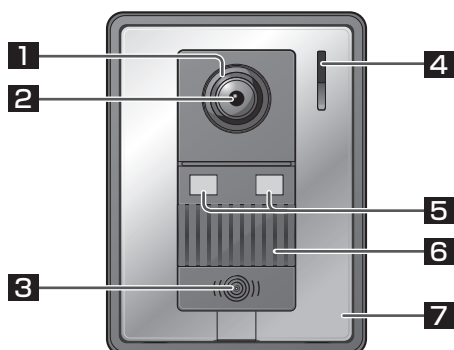
Parts Descriptions

Main Monitor Station

1 Display (Touch Screen)

To use the touch screen
Touch the desired item as shown below.

● A confirmation tone is heard and the touched item is highlighted.

2 モニター Monitor button / Monitor indicator
3 再生/録画 Playback/REC button / Playback indicator
4 ワイド/ズーム Wide/Zoom button
5 Antenna
6 Speaker
7 Talk indicator
8 Talk button
9 OFF button
10 Microphone

Door Station

1 Lens cover
2 Camera lens
3 Call button & indicator
4 Microphone
5 LED lights
6 Speaker
7 Panel

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

■ To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns on, press 通 話 (8).

■ To monitor outside images

Touch モニター (2).

(To talk to the visitor, press 通 話.)

● When more than one optional doorphone is connected

After touching モニター, touch the desired doorphone (ドアホン1 or ドアホン2).

■ To record the displayed image

Touch 再生/録画 (3) while the image is displayed.

■ To play back a recorded image when the playback indicator flashes

Touch 再生/録画.

➔ The recorded images are automatically played back.

■ To call the sub monitor station (VL-SW500KL only)

Touch the display (touch screen) (1). ➔ Touch 室内呼, and speak to the other party.

➔ After the other party answers, start talking.

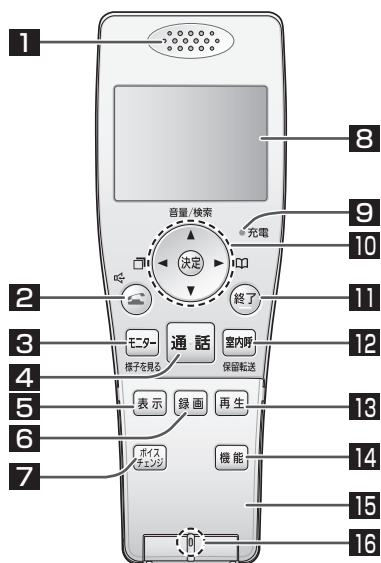
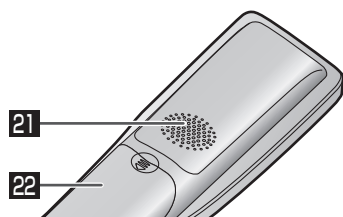
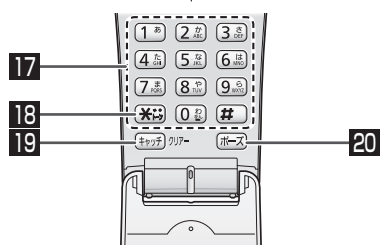
● When more than one optional sub monitor station is registered

After touching 室内呼, touch the desired sub monitor station, and speak to the other party.

Quick Reference Guide

Sub Monitor Station

Parts Descriptions

Sub Monitor Station

The flip is opened.

1 Earpiece

2 Talk button & indicator (Telephone)

3 Monitor button & indicator

4 Talk button & indicator (Doorphone)

5 Display option button

6 REC button

7 Voice change button

8 Display

9 Charge lamp

10 Navigator button

Set button

11 OFF button

12 Intercom/Hold button

13 Playback button

14 Function/External button
(To lock/unlock the door, and etc.)

15 Flip

16 Microphone

17 Numeral/Character buttons

18 Tone button (To switch to DTMF tone)

19 Flash button/Clear button

20 Pause button

21 Speaker

22 Battery cover

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

● The number after the button shows the location of the button described in the previous page.

Doorphone function

To answer a door call

When the ringer tone is heard and the display turns on, press 通話 (4).

To monitor outside images

Press モニター (3).

(To talk to the visitor, press 通話.)

● When more than one optional doorphone is connected

After pressing モニター, select the desired doorphone using ◇ (10), and press 決定 (10).

To record the displayed image

Press 録画 (6) while the image is displayed.

To play back the recorded image

Press 再生 (13). ➔ Select the desired item using ◇. ➔ Press 決定. ➔ After pressing 決定, play back the image using ◇.

To call the main monitor station

Press 室内呼 (12).※ ➔ Speak to the other party. ➔ After the other party answers, start talking.

● When more than one optional sub monitor station is registered

After pressing 室内呼, select [親機] using ◇, and press 決定.

To call another sub monitor station

Press 室内呼.※ ➔ Select the desired sub monitor station using ◇, and press 決定. ➔ Speak to the other party. ➔ After the other party answers, start talking.

※ When the sub monitor station is registered to both the main monitor station and the base unit (Telephone/Fax)

After pressing 室内呼, select [ドアホン室内呼] using ◇, and press 決定.

Telephone function

To make a call

Lift the sub monitor station from the charger and press ☎ (2). ➔ Open the flip (15) and dial.......To end the call, place the sub monitor station on the charger or press 終了 (11).

To receive a call

When the phone rings... ➔ Lift the sub monitor station from the charger or press ☎. ➔ Talk.......To end the call, place the sub monitor station on the charger or press 終了.

To switch to the speakerphone (Hands-free talk)

During a call, press ☎ for approx. 2 seconds. ➔ Talk to the microphone.

● To switch to the earpiece

Press ☎ for approx. 2 seconds again.

To place the current call on hold

Press 室内呼 during a call. ➔ Press 終了.

To retrieve the held call

Press ☎.

To transfer the held call to the base unit

Press 室内呼 during a call. ➔ Open the flip and press 0. ➔ After the other party answers, place the sub monitor station on the charger or press 終了.

To transfer the held call to another sub monitor station

Press 室内呼 during a call. ➔ Open the flip and press 1 ~ 6 (Intercom No.). ➔ After the other party answers, place the sub monitor station on the charger or press 終了.

さくいん

数字・アルファベット

あ 行

か 行

か 行

さ 行

さ 行

た 行

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/
携帯 http://mobile.club.panasonic.jp/

※このサービスは
WEB 限定のサービスです。

■本機は日本国内用です。国外での使用に対するサービスはいたしかねます。
■This product is designed for use in Japan.
Panasonic cannot provide service for this product if used outside Japan.

■別売品は100ページをご覧ください。

愛情点検 長年ご使用の ワイヤレスモニター付テレビドアホン／テレビドアホン の点検を！

こんな症状はありませんか

- 電源を入れても動かないことがある。
- こげくさい臭いや異常な音、振動がする。
- 電源プラグやコード、AC アダプターが熱を持っている。
- 日付・時刻の表示が大幅にくるうことがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

事故防止のため、電源プラグと AC アダプターを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

販売店名	電話（　　　）　　　―

本機の製品情報をホームページで見ることができます。
http://panasonic.jp/door/

- BluetoothはBluetooth SIG, Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載の会社名･ロゴ･製品名･ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- 子機のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Group が開発したモジュールが含まれています。

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目３番８号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2009

PNQX2244ZA　SV1009JT0

Panasonic ワイヤレスモニター付テレビドアホン／テレビドアホン 取扱説明書